



調査票の目次

* 項目をクリックすると、該当のページに飛ぶことができます。

| | | |
|-------|--|--------|
| I. | 事業内容、顧客層、拠点 | A共通 |
| II. | 経営トップ・取締役 | A共通 |
| III. | 人材活用 | B共通 |
| | 1) 基本情報 | B共通 |
| | 2) 労働時間、休暇取得、健康保持・増進 | B共通 |
| | 3) ダイバーシティの推進 | B共通 |
| | 4) 多様で柔軟な働き方 | B共通 |
| | 5) 人材への投資 | B共通 |
| | 6) エンゲージメント・モチベーション向上 | B共通 |
| IV. | 方針・計画と責任体制 | C SW |
| V. | テクノロジーの導入・活用 | C SW |
| VI. | イノベーション・市場開拓 | D SW |
| | 1) イノベーション・市場開拓の推進体制 | D SW |
| | 2) 社外との連携 | D SW |
| | 3) イノベーションへの投資、イノベーション人材 | D SW |
| | 4) 新製品・サービスの投入 | D SW |
| | 5) 広報・広告宣伝 | D SW |
| | 6) 顧客対応・顧客把握 | D SW |
| | 7) 業界を主導する事業・技術 | D SW |
| | 8) 海外進出 | D SW |
| VII. | 環境・社会・経済の課題解決の推進方針・体制 | E SDGs |
| | 1) 環境・社会・経済の課題解決（SDGs への貢献）に対する方針 | E SDGs |
| | 2) 報告とコミュニケーション | E SDGs |
| | 3) 環境・社会・経済の課題解決（SDGs への貢献）の推進体制 | E SDGs |
| | 4) 環境・社会・経済の課題解決（SDGs への貢献）の浸透のための取り組み | E SDGs |
| VIII. | 経済価値～事業を通じた環境・社会・経済の課題の解決 | E SDGs |
| IX. | 環境価値 | E SDGs |
| | 1) 環境経営の方針 | E SDGs |
| | 2) 環境負荷データ ☆この項のみ、8/24～9/4に追加・修正が可能です | E SDGs |
| | 3) 環境課題の解決のための取り組み | E SDGs |
| X. | 社会価値 | E SDGs |
| | 1) 人権の尊重 | E SDGs |
| | 2) その他社会的責任 | E SDGs |
| XI. | ガバナンス | E SDGs |
| XII. | 新型コロナウイルスを踏まえたSDGs推進戦略 | E SDGs |
| XIII. | その他 | E SDGs |
| XIV. | 2020ピックアップ設問 ～新型コロナウイルス対応～ | F_トピック |

 : SW・SDGsの共通設問です
 : Smart Work調査でのみ使用する設問です
 : SDGs調査でのみ使用する設問です

日経「SDGs経営」調査における環境負荷データの追加回答について

EQ20 環境負荷データの設問のみ、回答の追加または修正が可能です。

追加回答期間：8月24日（月）～9月4日（金）

- ・専用の追加回答用調査票ファイルを以下のURLからダウンロードしてご回答ください。
追加回答期間からダウンロード可能になります。
- ・URL、ID、パスワードは以下になります。全て元の調査と異なりますのでご注意ください。

追加調査用URL、ID、パスワード

| | | | |
|------|---|---------|--|
| URL | https://brs.nikkei-r.co.jp/sdgs2020r/ | | |
| 貴社ID | | 貴社パスワード | |

- ・元の調査票ファイルでの回答は受け付けません。必ず追加回答用調査票ファイルでご回答ください。
- ・当設問以外の回答の修正は一切受け付けません。
- ・特に追加・修正が無い場合はアップロード不要です。
- ・修正を予定されている場合、当初の回答提出時はEQ20の回答は空白でも構いません。
修正後の回答のみを評価に使用いたします。

日経「SDGs経営」調査における公表データの利用について

企業価値向上やガバナンスを評価するにあたり、調査票の回答だけでなく、公開情報からも評価を行います。
使用する指標について変更の可能性があります。
非上場企業の場合は、一部を調査票EQ59～61でお伺いします。

財務データ

- ・売上高営業利益率の水準および増減
- ・ROICの水準および増減
- ・ROEの水準および増減
- ・時価総額の増減

ガバナンスデータ

- ・株式持比率
- ・取締役と執行役員の兼任比率
- ・株式安定保有比率
- ・業務執行役員取締役比率
- ・買収防衛策の有無
- ・相談役・顧問などの有無
- ・取締役会人数
- ・決算発表タイミング
- ・独立社外取締役比率
- ・英文開示資料の有無(株主招集通知)
- ・女性の役員比率
- ・英文開示資料の有無(海外投資家向け説明会)

調査に関するお問い合わせ先

株式会社 日経リサーチ

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル

担当:コンテンツ事業本部 編集企画部 藤巻、矢部、有田、原、堀江

TEL:03-5296-5198 FAX:03-5296-5140

<お問い合わせ受付時間:平日10:00～18:00 但し12:30～13:30は除きます>

e-mail: sw-survey@nikkei-r.co.jp

日経「スマートワーク経営」調査の設計

日経グループは、新たな時代に競争力を発揮する企業経営のあり方として「Smart Work」を提案します。企業の持続的発展には、最も重要な経営資源である従業員の能力を最大限に活用することが必須です。「Smart Work」とは、多様で柔軟な働き方の実現等により人材を最大限活用するとともに、イノベーションを生み、新たな市場を開拓し続ける好循環を作り、生産性など組織のパフォーマンスを最大化させることを目指す経営戦略です。



調査の設計は、慶應義塾大学大学院 商学研究科 鶴光太郎教授をはじめ、慶應義塾大学商学部 山本勲教授、学習院大学経済学部 滝澤美帆教授に監修いただきました。

この調査を元に、働き方改革や技術革新の実態を把握し、企業競争力の強化に向けた研究にも取り組みます。全ての質問を「スマートワーク経営」を測る指標として利用するものではありません。

日経「SDGs経営」調査の設計

貧困や気候変動など世界が直面する課題解決のため、2015年に国連サミットで「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。SDGsでは全てのステークホルダーに行動を求めています。中でも企業はビジネスを通してSDGs達成に大きく貢献することが期待されています。企業がSDGsを経営に取り入れ、課題解決につながる事業を構築したり、新たなイノベーションを起こすことで、企業の持続的成長につながられます。また環境、社会、企業統治を重視するESG投資の拡大や消費者意識の変化などにみられるように、投資家や消費者はSDGsに積極的に取り組む企業を評価する傾向がますます強まっています。

日本経済新聞社はSDGsを経営と結びつけることで、事業を通じて社会・経済・環境の課題解決に取り組み、企業価値向上につなげている企業を評価するとともに、SDGs達成を後押しします。



調査の設計は、一橋大学大学院 経営管理研究科 伊藤邦雄特任教授に監修いただきました。

日経「スマートワーク経営」調査2020

日経「SDGs経営」調査2020

調査票ファイルアップロードサイト：<https://brs.nikkei-r.co.jp/swsdgs2020/>

ご回答締切：1次締切 6/19（金） / 最終締切 7/3（金） 17:00

【データの再確認・修正が発生することがありますので、できるだけ1次締切での提出にご協力ください】

| | | | |
|---|--------|-----|-------|
| 貴社名 | | | |
| 所属部署名 | | | ご担当者名 |
| ご連絡先 | 住所 | | |
| | TEL | FAX | |
| | e-mail | | |
| 上記の宛先を、今後弊社からお送りする日本経済新聞社グループの掲載を前提とした調査の窓口として登録したい場合は、こちらに 印をつけてください | | | |
| 連絡欄 | | | |

調査回答のご確認

「スマートワーク経営」調査、「SDGs経営」調査に回答しますか。そのままご提出いただくと、両方の調査に回答したことになります。
片方だけに回答したい場合に限り、回答をしない方を「回答しません」に変更してください。

「スマートワーク経営」調査に回答します

「SDGs経営」調査に回答します

調査にご回答いただいた後、弊社から内容についてお問い合わせさせていただく場合がございます。
 取りまとめの方と記入者が異なり、かつ弊社からのお問い合わせを直接記入者に差し上げた方が良い場合は、以下にご記入ください。

| | | | | |
|-----------------|-------|--|--------|-------|
| 人材活用 ご連絡先 | 所属部署名 | | | ご担当者名 |
| | TEL | | e-mail | |
| イノベーション ご連絡先 | 所属部署名 | | | ご担当者名 |
| | TEL | | e-mail | |
| 市場開拓 ご連絡先 | 所属部署名 | | | ご担当者名 |
| | TEL | | e-mail | |
| SDGs ご連絡先 | 所属部署名 | | | ご担当者名 |
| | TEL | | e-mail | |

！アップロード前に必ずご確認ください！

*エラーが残っていてもアップロードは可能ですが、明確な理由があるエラー以外は消してからアップロードをお願いします。

※ ご記入いただいたご担当者の情報は、当調査の回答内容確認、新聞紙面作成のための取材、フィードバック発送、関連商品のご案内、次回の宛先、および日本経済新聞社グループの各種媒体への掲載を前提とした調査の窓口情報として使用させていただきます。

※ ご回答いただく際は「記入上の注意事項」をご覧ください。【[記入上の注意事項](#)】

※ シートの保護の解除は行わないでください。正しくアップロードやデータの取得ができない場合があります。

内部作業用などで保護のないシートが必要な場合は、「下書用」や「空シート」(シート保護なし)をご使用ください。
 決められたフォーマット以外のファイルをアップロードしたことなどにより評価上の不都合が生じた場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

事業内容、顧客層、拠点

AQ1. 業種をお答えください。(1つだけ)

| | | |
|----------------------|--------------|-------------|
| 1. 食品 | 7. 自動車・輸送用機器 | 13. 倉庫・不動産 |
| 2. 化学・石油 | 8. その他製造業 | 14. 通信・サービス |
| 3. 非鉄・鉄鋼 | 9. 建設業 | 15. 小売り・外食 |
| 4. 医薬品 | 10. 電力・ガス | 16. 金融 |
| 5. その他素材(繊維、紙パ、窯業など) | 11. 商社 | 17. その他非製造業 |
| 6. 電機・精密・機械 | 12. 運輸 | |

参考 前回

| |
|--|
| |
|--|

AQ2. 貴社の連結売上高のうち、以下の a ~ c のおおよその比率をお答えください。

※BtoB取引とBtoC取引の考え方の例についてはこちらをご参照ください→ [\[BtoB取引とBtoC取引の考え方\]](#)

※連結ベースでのご回答が難しい場合には、主要な事業会社についてご回答ください。

※新型コロナ関連で比率が通常と大きく異なる場合、現在の比率ではなく平常時の比率でお答えください。

| | | | | |
|-----------------------------|----------------------|-------|----------------------|-------------------|
| a. BtoC比率 | <input type="text"/> | 参考 前回 | <input type="text"/> | 【選択肢】(それぞれ1つずつ選択) |
| b. 海外顧客向け売上比率 | <input type="text"/> | | | 1. 1%未満 |
| c. ネット経由売上比率 来店予約などは除きます | <input type="text"/> | | | 2. 1~5%未満 |
| | | | | 3. 5~10%未満 |
| | | | | 4. 10~20%未満 |
| | | | | 5. 20~30%未満 |
| | | | | 6. 30~40%未満 |
| | | | | 7. 40~50%未満 |
| | | | | 8. 50~60%未満 |
| | | | | 9. 60~70%未満 |
| | | | | 10. 70~80%未満 |
| | | | | 11. 80~90%未満 |
| | | | | 12. 90%以上 |

AQ3. 貴社の本社・支社・支店・営業所等の拠点、連結子会社がある地域と従業員の割合をお答えください。

a. 拠点・連結子会社のある地域 *常駐者がいる拠点のみ (上記の該当する選択肢に1を立ててください)

| | | | | | | | |
|----------------------|--------------|----------------------|-----------|----------------------|----------------|----------------------|---------------|
| <input type="text"/> | 1. 北海道 | <input type="text"/> | 6. 東海 | <input type="text"/> | 11. 中国・台湾 | <input type="text"/> | 16. 中央・南アフリカ |
| <input type="text"/> | 2. 東北 | <input type="text"/> | 7. 近畿 | <input type="text"/> | 12. 韓国 | <input type="text"/> | 17. 北米 |
| <input type="text"/> | 3. 関東(東京を除く) | <input type="text"/> | 8. 中国 | <input type="text"/> | 13. 東南・中央アジア | <input type="text"/> | 18. 中南米 |
| <input type="text"/> | 4. 東京 | <input type="text"/> | 9. 四国 | <input type="text"/> | 14. オセアニア | <input type="text"/> | 19. 北欧・西欧 |
| <input type="text"/> | 5. 北陸・甲信 | <input type="text"/> | 10. 九州・沖縄 | <input type="text"/> | 15. 西アジア・北アフリカ | <input type="text"/> | 20. 南欧・東欧・ロシア |

b. 連結従業員のうち国内勤務者の割合

| | | |
|----------------------------|-------|------------------------|
| 約 <input type="text"/> % | 参考 前回 | <input type="text"/> % |
| 国内: <input type="text"/> % | | |
| 海外: <input type="text"/> % | | |

c. 連結従業員のうち最も多い人数が在籍している地域

国内: *1~10より選択

海外: *11~20より選択

AQ4. 貴社が海外に置いている拠点の種類をお選びください。(いくつでも)

| | | | | | |
|----------------------|-----------|----------------------|---------|----------------------|-----------------------|
| <input type="text"/> | 1. 本社機能 | <input type="text"/> | 3. 生産拠点 | <input type="text"/> | 5. 営業、販売拠点 |
| <input type="text"/> | 2. 研究開発拠点 | <input type="text"/> | 4. 物流拠点 | <input type="text"/> | 6. サービス拠点(サポートセンターなど) |

AQ5. 貴社の海外における主要市場についてお答えください。

(1) 日本以外の、貴社の取引先の国数

*BtoCの場合は、商品・製品を販売している国数

| | |
|----------------------|----|
| <input type="text"/> | カ国 |
|----------------------|----|

(2) 海外の販売先のうち最も主要な地域

| |
|----------------------|
| <input type="text"/> |
|----------------------|

(3) 貴社が(2)の地域に進出してからの年数

*M&Aで進出した場合は、M&Aを実施してからの年数

| | |
|----------------------|---|
| <input type="text"/> | 年 |
|----------------------|---|

AQ6. コーポレートサイトは、日本語以外にどの言語に対応していますか。(いくつでも)

| | | | | | | | |
|----------------------|-------------|----------------------|------------|----------------------|-----------|----------------------|------------|
| <input type="text"/> | 1. 英語 | <input type="text"/> | 5. インドネシア語 | <input type="text"/> | 9. ロシア語 | <input type="text"/> | 13. スペイン語 |
| <input type="text"/> | 2. 中国語(簡体字) | <input type="text"/> | 6. ベトナム語 | <input type="text"/> | 10. フランス語 | <input type="text"/> | 14. ポルトガル語 |
| <input type="text"/> | 3. 中国語(繁体字) | <input type="text"/> | 7. タイ語 | <input type="text"/> | 11. イタリア語 | <input type="text"/> | 15. その他の言語 |
| <input type="text"/> | 4. 韓国語 | <input type="text"/> | 8. タガログ語 | <input type="text"/> | 12. ドイツ語 | | |

合計

| |
|----------------------|
| <input type="text"/> |
|----------------------|

カ国語

※日本語を除く

経営トップ・取締役

AQ7. 貴社の経営トップ（社長等）についてお答えください。

| | | |
|----|----------|----|
| 氏名 | 就任年月(西暦) | 役職 |
| | 年 月 | |

AQ8. 貴社では指名委員会・報酬委員会を設置していますか。(いくつでも)

| | | | |
|--------------------------|-------------------------|--------------------------|----------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 指名委員会等設置会社として両委員会を設置 | <input type="checkbox"/> | 3. 任意の報酬委員会を設置 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 任意の指名委員会を設置 | <input type="checkbox"/> | 4. いずれも設置していない |

AQ9. 2020年7月1日時点の取締役の人数についてご記入ください。

※取締役でない役員(監査役、執行役員、相談役、顧問等)は、取締役に含めないでください。

※調査票冒頭の「貴社名」に表示されている会社のみ的人数をご回答ください。

※指名委員会等設置会社の場合のみ、「執行役」をご記入ください。

ただし、執行役、取締役を兼務されている場合は、それぞれ1名としてカウントしてください。

※監査等委員会設置会社の場合は、①②共に「監査等委員取締役のみ務める方は除いて」ご回答ください。

※最年少年齢は、就任時の年齢ではなく、現在の就任者の中で最も若い方の現在の年齢をご回答ください。

※7月1日までに取締役の異動を予定されている場合は、異動後の内容でお答えください。

| | 就任者合計 | うち女性 | うち外国人 | 平均年齢 | 最年少年齢 |
|---------|-------|------|-------|------|-------|
| 取締役(社内) | 人 | 人 | 人 | 歳 | 歳 |
| 社外取締役 | 人 | 人 | 人 | | |
| 執行役 | 人 | 人 | 人 | 歳 | 歳 |

AQ10. 貴社では経営トップの後継者育成に関して、以下のようなことを実施していますか。(いくつでも)

| | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 登用の5年以上前から後継者候補リストを作成し、計画的に育成を行っている |
| <input type="checkbox"/> | 2. 経営トップの指名について、客観性・適時性・透明性を確保する仕組みや基準が設けられている |
| <input type="checkbox"/> | 3. 取締役会や指名委員会で、後継者の計画を監督している |
| <input type="checkbox"/> | 4. 採用段階から、経営幹部候補を一般社員とは分けて採用・育成している |

人材活用

ここでの人材活用は、一般的な労務管理としての人材育成や人材配置、賃金体系だけでなく、ダイバーシティの推進や時間や場所の柔軟な働き方の実現、それらを実現するためのテクノロジーの導入・活用などを含むものとします。

人材活用のセクションでは、海外の現地法人のみで行っている施策は回答対象に含めないで下さい。

1) 基本情報

BQ1. 人事・労務系設問 (BQ2～BQ48) においては、原則自社単体ベースでお答えください。

労務管理上困難な場合は、合算ベースでお答えください。

上記を踏まえ、ご回答範囲と集計対象期間についてお答えください。(1つだけ)

※ただし、純粋持株会社およびそれに準ずる会社単体でのご回答は認められません。

また、BQ2～BQ48のご回答のベースは全て揃えてください(「一部設問のみグループ回答」は不可)。

※集計対象期間は、人材関連設問(研修費など財務数値を除く)における「2019年度」を主にどの期間で算出しているかをお伺いするもので、決算の集計期間と異なっても構いませんが、極力12ヵ月の数字でご記入ください。

1. 自社単体で回答(自社は純粋持株会社ではない)
2. 自社は純粋持株会社(または不動産事業などごく一部の事業のみを行っている持株会社)で、傘下の事業会社単体(またはいくつかの事業会社の合算)で回答
3. グループ主要企業の合算、もしくは国内グループ企業全体で回答

ご回答範囲

参考 前回

集計対象期間(2019年度): の1年間

SQ1. (2、3を選択した場合) BQ2～BQ48で回答の範囲に含める企業を全てご記入ください。

※以降の設問では全て、持株会社の単独数値ではなく下記事業会社の単独数値をお答えください。

下記に複数の企業をご記入いただいた場合には、記入された全ての企業の単独の数値を合算してお答えください。

※多数ある場合は、10社程度主要な社名をご記入ください。

SQ2. (2、3を選択した場合および、自社が上場していない場合)

回答範囲の2019年度決算数値をお答えください。

※金融会社(銀行・保険・証券)の場合は、こちらの定義をご参照ください。【金融企業のご回答方法】

| | | | | | |
|------|----------------------|-----|-------------------|----------------------|-----|
| 売上高 | <input type="text"/> | 百万円 | 製造原価および販管費中の人件費 | <input type="text"/> | 百万円 |
| 営業利益 | <input type="text"/> | 百万円 | 製造原価および販管費中の減価償却費 | <input type="text"/> | 百万円 |

BQ2. 2019年度末の正社員、非正社員、派遣社員の人数をご記入ください。

正社員については2018年、2017年の人数もお答えください。

※区分の詳細についてはこちらをご参照ください→【従業員の区分について】

※他社からの受入は含み、他社への出向(在籍出向人数)は外数で④にご記入ください。

| | | 全体 | | うち女性 | | < 貴社の連結従業員数 > 約 <input type="text"/> 人 | |
|----------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---|---|---|
| | | 人 | 人 | 人 | 人 | | |
| 正社員 | a. 全体 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | 確認用 加重平均年齢 正社員全体(概算) <input type="text"/> | |
| | b. 年齢別内訳 | うち20代以下 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | | 人 |
| | | うち30代 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | | 人 |
| | | うち40代 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | | 人 |
| | | うち50代 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | | 人 |
| | | うち60代以上 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | | 人 |
| | c. うち外国人 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | | |
| a. 全体(2018年度末) | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | 確認用 全体に占める割合 女性正社員 <input type="text"/> 女性非正社員 <input type="text"/> 外国人 <input type="text"/> | | |
| a. 全体(2017年度末) | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | | | |
| 非正社員 | | | | | | | |
| 非正社員 | a. 全体 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | | |
| | b. うち有期フルタイム(継続雇用者以外) | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | | |
| | c. うち定年後継続雇用 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | | |
| 派遣社員 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | | | |
| 在籍出向人数(外数) | <input type="text"/> | 人 | | | | | |

BQ3. 正社員の入社人数について、新卒・中途それぞれご記入ください。
 2019年4月～20年3月入社の中途入社人数については、年代別の内訳もご記入ください。
 また、大卒・大学院卒新入社員の入社3年後の在籍率（小数点以下四捨五入）をご記入ください。
 ※グループで新卒採用を行っている場合も、自社への入社人数でお答えください。

| | | a. 計画人数 | b. 入社人数 | うち女性 | c. 3年後在籍率 大卒・院卒 | |
|----|-----------------|---------|---------|------|--|--|
| 新卒 | 2019年4月～20年3月入社 | 人 | 人 | 人 | 2020年4月時点 % 2019年4月時点 % 2018年4月時点 % | |
| | 2018年4月～19年3月入社 | 人 | 人 | 人 | | |
| | 2017年4月～18年3月入社 | 人 | 人 | 人 | | |
| | 2016年4月～17年3月入社 | | | | | |
| | 2015年4月～16年3月入社 | | | | | |
| 中途 | 2019年4月～20年3月入社 | | 人 | 人 | | |
| | 年齢別内訳 | うち20代以下 | | 人 | 人 | |
| | | うち30代 | | 人 | 人 | |
| | | うち40代 | | 人 | 人 | |
| | | うち50代以上 | | 人 | 人 | |
| | 2018年4月～19年3月入社 | | 人 | 人 | | |
| | 2017年4月～18年3月入社 | | 人 | 人 | | |

BQ4. 正社員の2017～2019年度の離職者数をご記入ください。
 ※自己都合、会社都合を問わずお答えください。定年退職者、在籍出向者、転籍出向者は除いてください。
 なお、離職者数の分母がBQ2の正社員数と著しく異なる場合（保険会社等）は、**<分母>**欄を適切な人数に修正してください。

| | | 全体 | うち女性 | <離職者数の分母> | |
|------------|------------|---------|------|-----------|--------------------------------|
| 離職者数 | 全体（2019年度） | 人 | 人 | 人 | |
| | 年齢別内訳 | うち20代以下 | 人 | 人 | 確認用 全体に占める割合 全体 男性 女性 |
| | | うち30代 | 人 | 人 | |
| | | うち40代 | 人 | 人 | |
| | | うち50代以上 | 人 | 人 | |
| 全体（2018年度） | 人 | 人 | | | |
| 全体（2017年度） | 人 | 人 | | | |

BQ5. 貴社の正社員について、職掌・職種別のおおよその構成比率をお答えください。
 ※当設問におけるそれぞれの職掌・職種の定義の詳細は、こちらをご参照ください [【職掌について】](#) [【職種について】](#)

| 職掌別構成比率 | | | | 職種別構成比率 | | | | 参考 前回 |
|---------|---|---|----------------------|------------|---|---|-------|-------|
| 総合職 | 約 | % | 参考 前回 | 営業 | 約 | % | 参考 前回 | |
| 専門職 | 約 | % | 参考 前回 | 研究開発・設計 | 約 | % | 参考 前回 | |
| 地域限定総合職 | 約 | % | 参考 前回 | 企画・マーケティング | 約 | % | 参考 前回 | |
| 現業職 | 約 | % | 参考 前回 | 生産・製造 | 約 | % | 参考 前回 | |
| 一般職 | 約 | % | 参考 前回 | 流通・販売・サービス | 約 | % | 参考 前回 | |
| 合計 | | % | 合計約100%になるようにご記入ください | その他（本社部門等） | 約 | % | 参考 前回 | |
| | | | | 合計 | | % | | |

BQ6. 正社員の2019年度末の平均勤続年数をご記入ください。

※契約社員等から正社員へ、雇用形態が変更になった場合は、正社員となった時点から平均に含めてください。

| | 全体 | うち男性 | うち女性 | 加重平均年数 |
|---------------------------|----|------|------|--------|
| 平均勤続年数 10進法、小数点第二位四捨五入 | 年 | 年 | 年 | |

BQ7. 2019年度末の役職者人数についてご記入ください。

※取締役、執行役員、部長相当職の兼務者は、上の役職を優先してお答えください。
 ※部長相当職・課長相当職は、ライン職と、ライン職以外(部下を持たないスタッフ職)を分けてお答えください。
 ※最年少年齢は、就任時の年齢ではなく、現在の就任者の中で最も若い方の現在の年齢をご回答ください。
 ※区分の詳細についてはこちらをご参照ください→ [【従業員の区分について】](#)

| | | 就任者合計 | うち女性 | うち外国人 | 平均年齢 | 最年少年齢 |
|-------|--------------------|-------|------|-------|------|-------|
| | 執行役員 | 人 | 人 | 人 | 歳 | 歳 |
| ライン職 | 部長相当職以上 | 人 | 人 | 人 | 歳 | 歳 |
| | 部長相当職未満 課長相当職以上 | 人 | 人 | 人 | 歳 | 歳 |
| ライン外職 | 部長相当職以上 | 人 | 人 | 人 | 歳 | 歳 |
| | 部長相当職未満 課長相当職以上 | 人 | 人 | 人 | 歳 | 歳 |

注: ライン外職の平均年齢欄には「全社員の女性のうち ~ 女性 + 女性 うち」の注釈あり。

BQ8. 貴社からの海外赴任者が勤務している国数と、海外赴任者の人数をお答えください。

※グループでご回答の場合も、日本から海外に赴任している人数のみでご回答ください。
 ※当設問については、出向者を含めてご回答ください。
 ※国数のカウントについて、「香港」「マカオ」などの行政区等は本国に含めてカウントし、「台湾」は1ヵ国としてカウントしてください。
 ※新型コロナウイルスの関連で一時的に帰任している方などは除かず、通常であれば海外赴任されている人数でお答えください。

勤務国数 カ国 現在の海外赴任者数 人

チェック用 社員+出向者に占める割合

BQ9. 健康経営やダイバーシティに関連して、以下の認定等を取得していますか。(いくつでも)

| <健康経営・安全衛生に関する認定等> | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 健康経営銘柄選定 | <input type="checkbox"/> 3. ISO45001またはOHSAS18001の認証 |
| <input type="checkbox"/> 2. 健康経営優良法人認定(ホワイト500でない認定も含む) | |
| <input type="checkbox"/> 4. その他 | |
| <ダイバーシティに関する認定等> | |
| <input type="checkbox"/> 1. ぐるみん認定 | <input type="checkbox"/> 3. えるぼし認定 <input type="text"/> 段階目 |
| <input type="checkbox"/> 2. プラチナぐるみん認定 | <input type="checkbox"/> 4. なでしこ銘柄選定(準なでしこは除く) |
| <input type="checkbox"/> 5. ダイバーシティ経営企業100選表彰(100選プライムを含む)(過年度の表彰を含む) | |
| <input type="checkbox"/> 6. PRIDE指標(LGBT等に関する取り組みの評価指標)ゴールド認定 | |
| <input type="checkbox"/> 7. その他 | |

2) 労働時間、休暇取得、健康保持・増進

BQ10. 貴社の最も標準的な所定労働時間をご記入ください。

※本社・支社別、勤務形態等によって異なる場合は、最も多くの正社員に適用されている所定労働時間をご記入ください。
 フレックスタイム制の場合は、標準となる1日の労働時間(年休取得時に労働したもとして扱われる時間)でお答えください。
 ※休憩時間は除いてください。(例:9時~18時→8時間0分)

時間 分

BQ11. 正社員一人当たりの年間総実労働時間をご記入ください。

【計算式】年間総実労働時間=年間所定内労働時間+年間所定外労働時間-年次有給休暇取得分-その他の休暇取得分
 ※有給休暇取得分を日数で集計しているケースは1日当たりの所定内の労働時間に換算してご記入ください。
 ※「年次有給休暇取得分」には繰越分を含み、「その他の休暇取得分」には有給休暇以外の夏期休暇・欠勤調整分等各種休暇を含めてください。
 ※管理監督者・裁量労働制社員については、みなし労働時間ではなく、健康管理時間でご回答ください。
 ※算出期間途中に入社・退社した人、休業・休職中の人は計算から除いてください。

| | 制度なし | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2019年度対象人数 |
|---------|--------------------------|--------|--------|--------|------------|
| 一般社員 | <input type="checkbox"/> | 時間 | 時間 | 時間 | 約 人 |
| 管理監督者 | <input type="checkbox"/> | 時間 | 時間 | 時間 | 約 人 |
| 裁量労働制社員 | <input type="checkbox"/> | 時間 | 時間 | 時間 | 約 人 |

BQ12. 2019年度に法定時間外労働が一定時間を超えた正社員の数をご記入ください。

※法定休日労働時間は除いてください。(いわゆる36協定ベース)

※年度途中に入社または退社した人は除いてください。

< 月45時間超過 回数ごとの人数 >

| 0回 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 | 7回以上 |
|----|----|----|----|----|----|----|------|
| □人 | □人 | □人 | □人 | □人 | □人 | □人 | □人 |

< 年間法定外労働時間が360時間超の人数 >

| | | | | | | | | | |
|-----------|----|--------|---|--------|---|---------|---|--------|---|
| 360時間超の人数 | □人 | 時間カバー率 | □ | 人数カバー率 | □ | 1人あたり回数 | □ | 360h超え | □ |
|-----------|----|--------|---|--------|---|---------|---|--------|---|

BQ13. 2019年度の正社員の休日の状況についてお答えください。

【計算式】 年次有給休暇取得率 = 年次有給休暇取得分 ÷ 規定の年次有給休暇 × 100 (100%を超えることもあります)

※「年次有給休暇取得分」は繰り越し分を含み、「規定の年次有給休暇」は繰り越し分を除き1年間に付与した休暇を指します。

※1ヶ月を超えるような長期間の休業・休職者、年度途中に入社または退社した人は除きます。

※平均休暇取得日数は、所定休日、代休、振替休日は除いてお答えください。

※各項目の詳細についてはこちらをご参照ください → [【休日について】](#)

※新型コロナ対応として別途付与した特別休暇がある場合、特別休暇には含めず「コロナ関連特別休暇」の欄でご回答ください。

| | | | | | | |
|-------------------|----------------------|----------|----------|--------|-----------|----|
| | 全体 | | | 管理職以上 | 管理職未満 | |
| a. 年次有給休暇取得率 | □ % | □ % | □ % | □ % | □ % | |
| ※小数点第二位四捨五入 | | | | | | |
| b. 年間平均休日数 | □日 | + □日 | + □日 | + □日 | + □日 | □ |
| | 所定休日 | | 年次有給休暇取得 | 特別休暇取得 | コロナ関連特別休暇 | 合計 |
| | (土日祝、年末年始、お盆など会社の休日) | | | | | |
| c. 年次有給休暇の取得状況別人数 | □人 | □人 | □人 | □人 | □人 | □ |
| | 5日未満 | 5日～10日未満 | 10日以上 | カバー率 | 1日あたり労働時間 | |

BQ14. 労働時間を適正化するために以下の施策を導入していますか。

(いくつでも)

| | |
|--|------------------------------------|
| < 労働時間適正化・過重労働抑制 > | |
| □ 1. 労働時間削減で減少する残業代の補填 | □ 5. メール等社内の連絡の時間制限 |
| □ 2. 勤務間インターバル規制制度 | □ 6. 時間外や休日の対応を行わない旨の顧客等へのアナウンス |
| □ 3. 正確な在社時間を把握し、勤務時間との差を確認し、管理職に連絡 | |
| □ 4. ICT活用による、リモートワーク等も含めた正確な労働時間管理 | |
| < 休暇の取得奨励 > | |
| □ 7. 5営業日以上連続休日取得について、取得計画の事前提出を制度化 | |
| □ 8. 取得率の低い人へのヒアリングやアンケート実施 | □ 9. 有給の傷病休暇を用意 |
| □ 10. 24時間営業、年中無休等の職場における定休日の新設・増加 | |
| < 個人の事情にあわせた労働時間削減・休暇取得施策の柔軟な活用 > | |
| □ 11. 朝型勤務の推奨(割増比率の引き上げ等) | □ 14. 標準労働時間を事前の申請により個人単位で変更可能 |
| □ 12. 半休制度 | □ 15. 事前申請による1日単位での出勤・退勤時間の繰上げ・繰下げ |
| □ 13. 時間単位年休制度 | |
| 上記1～15以外で、貴社独自のユニークな施策や、先進的な施策等があればご記入ください(100字以内) | |
| □ | |

SQ. (「2. 勤務間インターバル規制」を選択した場合) インターバルは何時間ですか。

□ 時間 □ 分

BQ15. 過去3年(2017年4月～2020年3月)の間の正社員のメンタルヘルス不調による休職者、

退職者の人数をご記入ください。

なお、離職者数の分母がBQ2の正社員数と著しく異なる場合(保険会社等)は、

< 分母 > 欄を適切な人数に修正してください。

※①については、連続1カ月以上欠勤または休職の方の人数をお答えください。(繰越)年休は含みません。

期間中に休職をした方(期間以前からの休職者、休職後復職・退職した人を含む)の実人数でお答えください。

※③については、休職を経ずに退職された方も含めてお答えください。

※詳細についてはこちらをご参照ください →

[【休職について】](#)

| | | | |
|----------|---------|-----|----------------|
| 長期欠勤・休職者 | うち復職済人数 | 退職者 | < 休職・退職者数の分母 > |
| □人 | □人 | □人 | □人 |

BQ16. 従業員のメンタルヘルス不調を防止するために以下の施策を導入していますか。（いくつでも）

※復職支援については、BQ30で聞いています。

| | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 一般従業員に対するメンタルヘルスに関する教育研修 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 管理職に対するメンタルヘルスに関する教育研修 |
| <input type="checkbox"/> | 3. メンタルヘルスを専門とする産業医または産業保健スタッフを設置 |
| <input type="checkbox"/> | 4. ストレスチェックの集団分析結果を部署・組織にフィードバックし、職場環境を改善 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 復職可否の判断基準をあらかじめルールとして決めている |
| <input type="checkbox"/> | 6. ストレスチェックとは別途、ハラスメントについての従業員アンケートを実施 |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他 |

BQ17. 従業員の健康診断等の、集計結果をお答えください。

※定期健康診断受診者の問診票の回答を原則としてください。

| | 2018年度 | 2019年度 |
|--------------------------------------|------------------------|------------------------|
| 「睡眠により十分な休養が取れている人」の割合 小数点第二位四捨五入 | <input type="text"/> % | <input type="text"/> % |

BQ18. 貴社の法定外福利費と、うち従業員の健康保持・増進に関連する費用、従業員の健康保持増進に関わる専門職の人件費をご記入ください。

※b. 従業員の健康関連費用として計上していただきたいもの:

定期健康診断(人間ドックなどの費用補助を含む)、ストレスチェック、保健指導などに掛かる外注費・経費、産業医や保健師など専門職の委託費(直接雇用・派遣の人件費はbには含めずdへ)、その他健康増進関連施策に係る費用、傷病治療費・支援金、治療と仕事の両立に係る費用、健保組合が実施する健康関連施策の費用のうち会社負担分

※b. 従業員の健康関連費用として除いていただきたいもの:

社内担当者や参加者、健保組合職員の人件費、会社保有病院・診療所の自社以外の利用者に係る費用、働き方改革やコミュニケーション改善などに係る費用、保養所などの福利厚生関連費用、健康に関連するものとししないものを区別できない福利厚生費(カフェテリアプランの福利厚生サービスなど)、健保組合が設置運営する施設に係る会社負担分

※詳細についてはこちらをご参照ください→

【健康関連費用について】

※新型コロナ対応の特別な健康関連費用(消毒液やマスクの購入等)もa,bに含めて計上して構いません。

また、その費用が例年のa,bと比較してかなり多く、金額を別建てで把握可能な場合にはcにも金額をご記入ください。

| | 2018年度 | 2019年度 | |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------------------|
| a. 法定外福利費 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 | 一人あたり金額(2019) <input type="text"/> |
| b. aのうち従業員の健康関連費用 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 | |
| c. bのうち新型コロナ対応の臨時費用 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 | |
| d. 産業医、保健師など専門職の 直接雇用の人件費 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 | |

従業員全体での算出が困難な場合(正社員のみなど)は、上の欄に算出可能な金額をご記入の上、下記にそのベースとなる人数をご記入ください。

| | 2018年度 | 2019年度 |
|--------|------------------------|------------------------|
| 集計対象人数 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |

3)ダイバーシティの推進

BQ19. ダイバーシティを推進するために以下の施策を導入していますか。(いくつでも)

| | |
|---|---|
| <女性活躍推進> | |
| <input type="checkbox"/> 1. 女性社員向けのキャリア研修・セミナーの実施 | <input type="checkbox"/> 3. 女性向けのメンター制度の導入 |
| <input type="checkbox"/> 2. 男性管理職や同僚向けの女性に対する意識改革研修 | <input type="checkbox"/> 4. 女性管理職のロールモデルの提示 |
| <シニア活躍推進> | |
| <input type="checkbox"/> 5. 勤務日数・時間や職務内容の希望を面談等で確認 | <input type="checkbox"/> 8. 人事評価を実施し、賞与等に反映 |
| <input type="checkbox"/> 6. 勤務日数・時間等の異なる複数の勤務体系を用意 | <input type="checkbox"/> 9. 正社員と同内容の手当・福利厚生を用意 |
| <input type="checkbox"/> 7. 職責・職務の異なる複数のコースを用意 | |
| <外国人(正社員)活躍推進> | |
| <input type="checkbox"/> 10. 仕事や生活の相談ができる体制の整備(上司・先輩・同僚、メンターによるサポート等) | |
| <input type="checkbox"/> 11. 医療、年金、住宅、子どもの教育等の日本での生活環境のサポート | |
| <input type="checkbox"/> 12. 外国人従業員に対して日本語や日本文化の研修を実施 | |
| <input type="checkbox"/> 13. 外国人従業員のキャリアパスの明確化、研修等での説明 | |
| <input type="checkbox"/> 14. 異なる宗教への配慮(礼拝所の設置、断食への配慮など) | <input type="checkbox"/> 18. 海外赴任の経験者のもとに配属 |
| <input type="checkbox"/> 15. 母国の事情への配慮(年末年始休暇の時期調整など) | <input type="checkbox"/> 19. 複数言語での社内文書作成・情報発信 |
| <input type="checkbox"/> 16. 4月新卒入社以外の、入社時期の柔軟な対応 | <input type="checkbox"/> 20. 会議での自動翻訳等を活用し、 |
| <input type="checkbox"/> 17. 柔軟な採用基準の設定(高い日本語能力を求めない等) | 通訳なしでコミュニケーションを可能にする |
| <障害者雇用に関する取り組み> 特例子会社の取組も含む | |
| <input type="checkbox"/> 21. (主に知的・精神・発達障害者向けの)業務指示・手順の明確化、マニュアルの整備 | |
| <input type="checkbox"/> 22. 社内環境のバリアフリー化 | |
| <input type="checkbox"/> 23. 障害者向け設備・システムの整備 | <input type="checkbox"/> 24. 在宅雇用等、勤務地や勤務時間を柔軟にする |
| <LGBT(性的マイノリティ)への対応> | |
| <input type="checkbox"/> 25. 従業員に対して研修を実施 | <input type="checkbox"/> 28. 通称の使用や戸籍上と異なる性別での処遇を認める |
| <input type="checkbox"/> 26. 管理職に対して研修を実施 | <input type="checkbox"/> 29. 家族に関する手当や休暇の対象を同性パートナーに広げる |
| <input type="checkbox"/> 27. 性別移行に対する支援(休業認定など) | <input type="checkbox"/> 30. 社内設備(ロッカー、トイレ等)への配慮 |
| 上記1~30以外で、貴社独特のユニークな施策や、先進的な施策等があればご記入ください(100字以内) | |
| | 0 |

SQ. (27~30のいずれかを選択した場合) LGBTへの対応のうち、本人等への対応について現在利用されている実績はありますか。(1つだけ)

| | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1. ある | <input type="checkbox"/> 2. ない | <input type="checkbox"/> 3. 把握していない | |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|--|

BQ20. 60歳以上の従業員の雇用について、どのような状況ですか。また、継続雇用制度や定年を上げた人の報酬は、60歳までと比較して年収ベースでどの程度の水準となるように設計していますか。2019年度実績と合わせてお答えください。

※役員や、役員退任後の顧問契約などは除いてください。
 ※定年まで貴社で雇用し、再雇用制度によりグループ子会社で継続雇用する場合も含めてください。

| 雇用制度(いくつでも) | 上限年齢 | 報酬設計 | 平均年間給与実績 |
|--|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 継続雇用制度により定年後再雇用 | → <input type="text" value=""/> 歳 | <input type="text" value=""/> 割程度 | <input type="text" value=""/> 千円 |
| <input type="checkbox"/> 2. 定年年齢を引き上げて正社員のまま雇用 | → <input type="text" value=""/> 歳 | <input type="text" value=""/> 割程度 | <input type="text" value=""/> 千円 |
| <input type="checkbox"/> 3. 定年制はない | | | |

SQ. (1を選択した場合) 継続雇用者のうち、正社員と同等の勤務日数・時間で働く方の割合をお答えください。

割

BQ21. 障害者雇用率(障害者雇用促進法に基づいた実雇用率)をお答えください。

※障害者雇用状況報告書の実雇用率(小数点第3位を四捨五入した値)をお答えください。
 ※グループとして障害者採用を行っている場合はグループの数字をお答えください。

%

BQ22. 障害者雇用をどのように行っていますか。また、現在どのような障害を持った方を雇用していますか。(いくつでも)

| | |
|--|---|
| <雇用形態> | |
| <input type="checkbox"/> 1. 特例子会社を設置して雇用 | <input type="checkbox"/> 3. 自社内で健常者と同じ職場で雇用 |
| <input type="checkbox"/> 2. 自社内に障害者が就業する専門部門等を用意して雇用 | |
| <障害の種別> | |
| <input type="checkbox"/> 4. 身体障害者 | <input type="checkbox"/> 6. 発達障害以外の精神障害者 |
| <input type="checkbox"/> 5. 知的障害者 | <input type="checkbox"/> 7. 発達障害者 |
| <input type="checkbox"/> 8. 障害者を雇用していない | |

当シートの以降の設問(BQ23～48)については、スマートワーク経営調査のみで使用します。
SDGs経営調査のみにご回答の場合は回答不要です。「E_SDGs」シートにお進みください →SDGsシートへ

4) 多様で柔軟な働き方

a. 正社員の多様な勤務体系

BQ23. 貴社には職務限定正社員の制度がありますか。限定の内容についてお答えください。(いくつでも)

※ここでの職務限定正社員とは、契約で業務範囲が規定されているケースを指します。

勤務地域のみ限定されているケースはBQ24の地域限定正社員に該当しますので、ここでは除外してください。

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 一般職・現業職またはそれに準じる職務限定(概ね非管理職層として勤務することを前提にしたキャリア・コース) |
| <input type="checkbox"/> | 2. 契約社員や派遣社員を正社員登用する際に、当初の業務に限定した職務限定(販売職、現業職など) |
| <input type="checkbox"/> | 3. 特定の業務のプロフェッショナルとしての職務限定(無限定社員と等級や給与水準が同程度または同程度未満) |
| <input type="checkbox"/> | 4. 特定の業務のプロフェッショナルとしての職務限定(無限定社員よりも等級や給与水準が上の、高度資格所有者など) |

SQ. (4を選択した場合) 具体的な職種(職務の内容)をお答えください。

具体的な職種(代表的なもの)

| |
|--|
| |
|--|

BQ24. 貴社には地域限定正社員がいますか。いる場合は、人数をお答えください。

※原則全員転勤がないケースなどは含めず、一般社員と契約内容が異なる場合のみ含めてください。

地域限定正社員人数 人

SQ1. 無限定の正社員と比較して、30歳時点の給与水準はおよそどの程度ですか。(1つだけ)

※複数種類の限定正社員制度がある場合は、最も該当者の多い限定正社員についてお答えください。

- | | | | | | | | |
|--------------------------|-------------|--------------------------|-------------|--------------------------|-------------|-------------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 70%未満 | <input type="checkbox"/> | 3. 75～80%未満 | <input type="checkbox"/> | 5. 85～90%未満 | <input type="checkbox"/> | 7. 95%以上 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 70～75%未満 | <input type="checkbox"/> | 4. 80～85%未満 | <input type="checkbox"/> | 6. 90～95%未満 | <input type="text" value=""/> | |

SQ2. 地域限定正社員のうち、係長級・課長級の人数をお答えください。

※ライン職でなくても構いません。

係長相当職以上(課長相当職未満) 人 課長相当職以上 人

BQ25. 限定正社員と、無限定な正社員との転換制度の有無、および転換実績(2017～19年度)をお答えください。

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 限定⇄無限定、双方向の転換制度がある <input type="checkbox"/> 2. 限定⇒無限定への転換制度のみある <input type="checkbox"/> 3. 無限定⇒限定への転換制度のみある <input type="checkbox"/> 4. いずれの制度もない <input type="checkbox"/> 5. 限定正社員がいない | 制度の有無 <input type="text" value=""/> | 転換実績(2017～19年度) ※制度の有無にかかわらずお答えください。 | |
| | | 限定 無限定への転換 <input type="text" value=""/> 人 | 無限定 限定への転換 <input type="text" value=""/> 人 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

BQ26. 住居の移転を伴う、正社員の転勤(配置転換)について、以下の施策を実施していますか。

(いくつでも)

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------------------|--------------------------|-----------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 自己申告制度等を通して予め可否の希望を聞いている | <input type="checkbox"/> | 4. 特に行っていることはない |
| <input type="checkbox"/> | 2. 育児介護等の理由で転勤を免除する制度がある | <input type="checkbox"/> | 5. 転勤がない |
| <input type="checkbox"/> | 3. 本人の希望による勤務地変更を認めている(配偶者の転勤への配慮など) | | |

b. 時間に関する多様で柔軟な働き方

BQ27. 勤務時間を通常よりも限定して働くことができる条件はどのような状況ですか。(いくつでも)

※所定労働時間の1日6時間以下への短縮または所定労働日数の週4日以下への短縮の場合をお答えください。

- | | | | |
|--------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 育児を理由として法定の範囲内でのみ利用できる | <input type="checkbox"/> | 4. 傷病治療を理由として利用できる |
| <input type="checkbox"/> | 2. 育児を理由として法定の期間を超えて利用できる | <input type="checkbox"/> | 5. 理由にかかわらず制度を利用できる |
| <input type="checkbox"/> | 3. 介護を理由として利用できる | | |

BQ28. 勤務時間を通常よりも限定して働く正社員の人数をお答えください。

※1ヵ月以上連続して、短時間勤務している人数をお答えください(1ヵ月に満たない一時的な対応は除く)。

※aとbを区別していない場合は、aに寄せてご回答ください。

| | 正社員男性 | 正社員女性 | チェック 全社員 | 割合 女性 |
|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| a. 育児による短時間勤務 | <input type="text" value=""/> 人 | <input type="text" value=""/> 人 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| b. 育児以外の短時間勤務 (介護、傷病治療など) | <input type="text" value=""/> 人 | <input type="text" value=""/> 人 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

BQ29. 育児・介護休業制度の利用状況についてお答えください。

※取得人数は延べ人数でなく、何回取得しても1人としてカウントしてください。

※詳細についてはこちらをご参照ください→ **【育児・介護休業について】**

(1) 出産・育児休業取得等の人数

(出産した本人の休業取得・復帰)

| | 女性正社員 | 女性非正社員 |
|---|------------------------|------------------------|
| a. 2018年4月～2019年3月に出産 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |
| b. aのうち、育児休業取得経験者 *連続1ヶ月以上、産前産後休暇除く | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |
| c. aのうち、把握の最新時点で 就労中(産休・育休復帰後)の方 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |
| d. cのうち、現在フルタイム勤務の方 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |

(2) 2019年度育児休業取得人数

(配偶者・パートナーが出産)

| | 男性正社員 | 男性正社員 |
|-----------------------------|------------------------|---|
| a. 連続1週間以上1カ月未満 取得人数 | <input type="text"/> 人 | b. 連続1カ月以上 取得人数 <input type="text"/> 人 |

(3) 2019年度介護休業取得人数

| | 女性正社員 | 女性非正社員 | 男性正社員 | 男性非正社員 |
|-------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 介護休業取得人数(連続1カ月以上) | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |

※(2)、(3)は、2019年度中に休業を取得し始めた人数のみをカウントしてください。

BQ30. 休職からの復帰や、復帰後の就労継続を支援するために以下の施策を実施していますか。

(いくつでも)

※個別対応は除き、制度として明文化されているもののみお答えください。

| | | | |
|-------------------------------|------------------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| < 育児からの復帰 > | | | |
| <input type="checkbox"/> | 1. 保育料などの継続的な育児費用の補助 | <input type="checkbox"/> | 1. 通常保育 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 延長・病児保育やベビーシッターなど一時的な育児費用への金銭補助 | <input type="checkbox"/> | 2. 延長・夜間保育 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 事業所内保育所設置(企業主導型を含む) | <input type="checkbox"/> | 3. 休日保育 |
| | (ある場合、可能なサービスを選択) | <input type="checkbox"/> | 4. 病児保育 |
| <input type="checkbox"/> | 4. 近隣保育所との提携 | <input type="checkbox"/> | 8. 保育所探しの支援などを行うコンシェルジュの設置 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 復帰先の上司に対する研修 | <input type="checkbox"/> | 9. 休業前・復職前・復職後において、復職支援面談の実施 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 男性社員の育休取得を義務化 | <input type="checkbox"/> | 10. 1歳未満での職場復帰に対して金銭支援(手当や補助)を増額 |
| <input type="checkbox"/> | 7. 復帰前後のビジネススキル研修の実施・補助 | <input type="checkbox"/> | 16. 休業前・復職前・復職後において、復職支援面談の実施 |
| < 傷病からの復帰・就労継続 > | | | |
| <input type="checkbox"/> | 11. リワークプログラムの実施 | <input type="checkbox"/> | 14. 時差出勤や時短勤務など、治療の状況に合わせた勤務制度 |
| <input type="checkbox"/> | 12. 復職後の通院に対するの特別休暇の付与 | <input type="checkbox"/> | 15. 本人の治療状況や希望に合わせた配置転換の実施 |
| <input type="checkbox"/> | 13. リハビリ・ならし勤務 | <input type="checkbox"/> | |

SQ. 上記以外で、特に子供が1歳未満での復帰やフルタイムでの復帰、介護・傷病治療等を含む就労との両立支援で、貴社独特のユニークな施策や、先進的な施策等があればご記入ください。
(100字程度) 0

BQ31. 以下に挙げる、時間について多様で柔軟な働き方を実現するための制度はありますか。

ある場合は、**制度の正社員利用実績人数**もお答えください。

※a. フレックスタイムについて、申請等が必要なく利用が把握できない場合は、制度の対象(利用可能)人数でお答えください。

※b. 裁量労働制について専門業務型・企画業務型いずれも含まれますが、事業場外労働のみなし制は含めずお答えください。

| | 制度の有無 1=ある 「ある」場合 | 2019年度利用人数 | 全社員中の割合 |
|-------------|--------------------------|------------------------|----------------------|
| a. フレックスタイム | <input type="checkbox"/> | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> |
| b. 裁量労働制 | <input type="checkbox"/> | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> |

SQ. (a. フレックスタイムで1を選択した場合) 1日のコアタイムの時間数をお答えください。

※コアタイムを設定していない(フルフレックス)場合は「0」分とお答えください。

※休憩時間は除かずお答えください。

| | | | |
|----------------------|----|----------------------|---|
| <input type="text"/> | 時間 | <input type="text"/> | 分 |
|----------------------|----|----------------------|---|

c. 場所に関する多様で柔軟な働き方

BQ32. 場所に関する多様で柔軟な働き方を実現するための制度はありますか。

ある場合は、制度の正社員利用人数もお答えください。

※利用人数は延べ人数でなく、何回利用しても1人としてカウントしてください。

※新型コロナ関連の一時的な対応のみの場合は「制度あり」とはせず、2020年4月以降の利用人数や「臨時在宅端末」に関する設問のみお答えください。

| | | | | | |
|---|--------------------------|------------------------|--|------------------------|----------------------|
| | 恒常的な 制度の有無 1=ある | 「ある」場合 | 2019年度利用人数 (新型コロナ対応開始前) | うち女性 | 全社員中の割合 |
| a. 在宅勤務 | <input type="checkbox"/> | | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> |
| 2020年1月以前における 月平均利用回数別人数 (概数で構いません) | 月1日未満 | 月1~5日 | 月6日以上 | 2020年4月以降の利用人数 | |
| | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | |
| b. サテライトオフィス | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> 1. 既存の自社オフィス内に用意 <input type="checkbox"/> 2. 自社占有拠がある <input type="checkbox"/> 3. シェアオフィス等、自社占有ではない拠がある | | |
| c. モバイルワーク | <input type="checkbox"/> | | | | |

以下、SQ1~SQ4は「臨時在宅端末」を除き、原則通常時のルール・仕様をお答えください。

SQ1. (a. 在宅勤務で1を選択した場合) 利用できる条件はどのような状況ですか。(いくつでも)

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 育児を理由として利用できる | <input type="checkbox"/> 3. 傷病治療を理由として利用できる |
| <input type="checkbox"/> 2. 介護を理由として利用できる | <input type="checkbox"/> 4. 理由にかかわらず制度を利用できる |

SQ2. (a. 在宅勤務で1を選択した場合) 1か月で利用可能な日数をご記入ください。

※週単位で制限している場合は4倍(週2日⇒月8日)、
特に日数に制限が無い場合は20日とご回答ください。

1ヵ月につき 日

**SQ3. モバイルワークに利用できる情報端末では何ができますか。
最も一般的な仕様についてお答えください。(いくつでも)**

※新型コロナ対応用に急速、通常のモバイルPCとは仕様の異なる端末を導入した場合には、「臨時在宅端末」の欄でその仕様についてお答えください。

| | スマートフォン | モバイルPC等 | 臨時在宅端末 |
|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 内線電話の利用 | <input type="checkbox"/> | | |
| 2. 会社のメールの送受信 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 会社のグループウェア(スケジュール管理など)の閲覧・登録 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 社内で利用しているクラウドサービス(ERPや業務システム等)の利用 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 社内のファイルサーバー上のファイルの利用 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

SQ4. モバイルワークに利用できる情報端末を配布している、正社員人数をお答えください。

※常時使用かつ社外に持ち出せる端末のみで、一時・共用での使用や、規定上社外持ち出し不可の端末は除いてください。
 ※スマートフォンは、会社のメールやファイルを利用できる端末のみで、通話・Web閲覧のみ使用できる端末は除いてください。
 ※新型コロナ対応として追加で配布した分も含めて構いません。「臨時在宅端末」の欄は、通常の在宅・モバイルワーク用PCと仕様が異なる在宅用端末を応急的に配布している場合のみご記入ください。
 モバイルPCと臨時在宅端末は重複せずご回答ください。

| | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------|----------------------|
| タブレット・スマートフォン | モバイルPC | 臨時在宅端末 | 割合(PC+臨時) | 割合(スマホ) |
| 約 <input type="text"/> 人 | 約 <input type="text"/> 人 | 約 <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

**SQ5. 新型コロナのための臨時対応も含め、在宅・モバイルワークの環境整備として
現在、貴社が実施している取り組みをお答えください。(いくつでも)**

| | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 通信費などの補助 | <input type="checkbox"/> 3. モニターなどの貸与または購入補助 |
| <input type="checkbox"/> 2. Webカメラや通信機器などの導入に対する補助 | <input type="checkbox"/> 4. 柔軟な労働時間設定 (子供がいる場合に通常と異なる勤務時間を認めるなど) |
| <input type="checkbox"/> 5. その他 <input type="text"/> | |

d. 社外活動

BQ33. 従業員の社外活動を支援するために、休職や休暇を認めていますか。(いくつでも) 認めている理由と、2019年度の正社員利用人数をお答えください。

※BQ36(会社主導のスキル向上支援)とは重複しないようにお答えください。

<1カ月以上の長期休業>

| | |
|--------------------------|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. ボランティア(青年海外協力隊など含む) |
| <input type="checkbox"/> | 2. 自己啓発(ワーキングホリデーなど含む) |
| <input type="checkbox"/> | 3. 大学(院)や語学学校等への進学・留学 |
| <input type="checkbox"/> | 4. 理由を問わない自由な長期休暇(勤続休暇など) |
| <input type="checkbox"/> | 5. その他 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 1カ月以上の長期休業の制度はない |

<短期の特別休暇>

| | |
|--------------------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> | 7. ボランティア休暇 |
| <input type="checkbox"/> | 8. 自己啓発休暇(通学支援・資格取得) |

1~5のいずれかを選択した場合
2019年度
長期休業利用人数 人
(連続1カ月以上)

BQ34. 就業規則等で従業員の副業・兼業を認めていますか。(それぞれ1つだけ) 認めている場合、2019年度末時点の把握している正社員人数をお答えください。

※条件付である場合も含めてください。

| | |
|--------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 認めており、届出等も必要ない |
| <input type="checkbox"/> | 2. 認めているが、会社に届出が必要 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 認めているが、会社の許可が必要 |
| <input type="checkbox"/> | 4. 原則禁止だが、個別対応で認めた例がある |
| <input type="checkbox"/> | 5. 禁止しており、個別に認めた例もない |

認めている
場合(1~4)

| | |
|------|----------------------|
| 正社員 | <input type="text"/> |
| 非正社員 | <input type="text"/> |

2019年度末
把握人数

| | |
|----------------------|---|
| <input type="text"/> | 人 |
| <input type="text"/> | 人 |

SQ. (正社員において1~3の場合) 正社員の副業・兼業について、予め定めている制限や、推奨している内容をお答えください。(いくつでも)

<推奨>

| | | | |
|--------------------------|-----------------------|--------------------------|-------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 従業員の能力向上等に繋がる副業を推奨 | <input type="checkbox"/> | 3. 人脈づくりを目的とした副業を推奨 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 自社業務に関連する副業を推奨 | <input type="checkbox"/> | 4. ミドル・シニア社員のセカンドキャリア開発 |

<制限>

| | | | |
|--------------------------|--------------------------------------|--------------------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> | 5. 雇用以外の形態の副業に限定 | <input type="checkbox"/> | 7. 特定分野(業種、職種)の副業に限定 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 短期間・一時的な副業に限定 | | |
| <input type="checkbox"/> | 8. 同業他社や、自社の信用を傷つけるような副業以外は特に限定していない | | |

5) 人材への投資

a. スキル・キャリア開発

BQ35. 正社員の研修費用と、含まれる範囲をご記入ください。

※計上していただきたいもの:

従業員的能力向上・人材育成を目的とした、従業員教育・研修(新人研修・語学研修・技術研修・キャリアアップ研修など)にかかる費用、留学や通学などに対する援助、補助金など。研修に伴う、外部スタッフや外部講師の人件費、移動などにかかる交通費など。

※除いていただきたいもの:

研修センター施設等の建設費用、固定費、施設にかかる維持費用。内部スタッフや内部講師の人件費、研修参加者への研修期間中や留学期間中の給与の支払い(保障)費用。

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度(見込) | 2021年度(予定) |
|-----|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 研修費 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 |

正社員に限定した研修費用の算出が困難な場合は、上の欄に従業員全体の研修費をご記入の上、下記にそのベースとなる人数をご記入ください。

| | 2018年度 | 2019年度 | 一人あたり金額(2019) |
|------|------------------------|------------------------|----------------------|
| 従業員数 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> |

BQ36. 社員のスキル向上や学び直しを支援する次の制度について、2019年度の正社員利用人数をご記入ください。

※dは自主的な取得に限定し、職務上必須または取得を義務化しているもの(証券外務員、宅建など)は除いてください。

また、講習を受けただけで取得できるもの(取扱責任者等)や、カフェテリアプラン(「特定」の資格でない)も除いてください。

※人数はのべ人数ではなく、一人で何度利用しても1人としてカウントしてください。

| | 2019年度利用人数 | 2019年度利用人数 |
|----------------------------------|------------------------|---|
| a. 国内大学(院)進学支援 (費用補助・有給付与) | <input type="text"/> 人 | c. 海外研修制度 留学は除く <input type="text"/> 人 |
| b. 海外留学(MBA取得等)支援 (費用補助・有給付与) | <input type="text"/> 人 | d. 特定の資格取得奨励 (合格祝い金の支給、費用補助) <input type="text"/> 人 |

c割合

d割合

dの対象となる資格
(複数記入可)

BQ37. どのようなスキル・キャリア開発支援施策を実施していますか。全社、階層別でお答えください。
(いくつでも)

| | | | |
|--------------------------------|------------------------------|--------------------------|----------------------------|
| < 全社施策 > | | | |
| <input type="checkbox"/> | 1. キャリアカウンセラーの設置 | <input type="checkbox"/> | 3. カフェテリアプランによる教育支援 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 人事担当者のキャリアコンサルタント資格の取得奨励 | <input type="checkbox"/> | 4. スキル評価・認定基準の設定(社内資格制度など) |
| < 新入社員・若手社員向け施策 > | | | |
| <input type="checkbox"/> | 5. 短期海外研修の実施 | <input type="checkbox"/> | 7. ダイバーシティ研修 |
| <input type="checkbox"/> | 6. キャリアプランニング研修 | <input type="checkbox"/> | 8. 他社との人材交流機会の提供 |
| < 管理職向け施策 > | | | |
| <input type="checkbox"/> | 9. グローバル人材育成 | <input type="checkbox"/> | 12. ハラスメント防止 |
| <input type="checkbox"/> | 10. メンタルヘルスなど部下の健康保持・増進への配慮 | <input type="checkbox"/> | 13. タイムマネジメント |
| <input type="checkbox"/> | 11. ダイバーシティへの意識 | <input type="checkbox"/> | 14. メンターやコーチング、シャドウイング制度 |
| < 非管理職ミドル層向け施策 > | | | |
| <input type="checkbox"/> | 15. 新たなスキルの習得を支援する教育研修 | <input type="checkbox"/> | 17. キャリアデザイン、キャリア開発研修 |
| <input type="checkbox"/> | 16. 専門職等級など管理職と並列のキャリアコースの設置 | <input type="checkbox"/> | 18. ミドル層向けの社内公募制・社内FA制 |
| < 非正社員向け施策 > | | | |
| <input type="checkbox"/> | 19. 客観的な人事評価基準の設定 | <input type="checkbox"/> | 21. 定期的な正社員登用機会の設定 |
| <input type="checkbox"/> | 20. 明確な正社員登用基準の設定 | | |

BQ38. 正社員のキャリア向上を支援する次の制度の有無についてお答えください。
また、それぞれの制度の利用実績がある場合は、2019年度の利用人数をご記入ください。

※利用人数については、応募者ではなく、実際にその制度を利用して異動した人数をお答えください。
※a. とb. は重複しないようにご回答ください。個々人の希望を会社に伝えておくまたはDBに登録しておく、といった受動的なものは貴社での制度の名称にかかわらず、社内FA制度ではなく、自己申告制度に該当します。

| | | | |
|-------------------------------|--------------------------|------------------------|------------------------------|
| | 制度の有無 1=ある | 2019年度利用人数 | |
| a. 社員が就きたい職種や職務を申請・登録する自己申告制度 | <input type="checkbox"/> | <input type="text"/> | 全社員中の割合 <input type="text"/> |
| b. 社内公募制度 / 社内FA制度 | <input type="checkbox"/> | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> |

BQ39. 一度退職した正社員の再雇用制度の有無についてお答えください。(1つだけ)
また、再雇用実績がある場合は、2019年度の正社員利用人数をご記入ください。

※定年退職後の再雇用、グループ間異動等に伴うものは除いてください。

| | | | |
|---------------------|--------------------------|------------------------------|------------------------------|
| | 実績がある場合 (1, 2) | 2019年度利用人数 | 前回(男女計) <input type="text"/> |
| 1. 制度も利用実績もある | <input type="checkbox"/> | 正社員男性 <input type="text"/> 人 | 正社員女性 <input type="text"/> 人 |
| 2. 制度はないが個別の対応実績はある | <input type="checkbox"/> | | |
| 3. 制度はあるが実績がない | <input type="checkbox"/> | | |
| 4. 制度も実績もない | <input type="checkbox"/> | | |

BQ40. 2019年度に有期契約から無期契約等、派遣から直雇用へ転換した人数をご記入ください。

※派遣から直雇用への転換について、紹介予定派遣は除いてください。

| | | |
|--|------------------------|---------------------------------------|
| | 2019年度実績人数 | 2019年度実績人数 |
| a. 有期契約から無期契約への転換 (待遇の変更なしで、契約期間のみ変更) | <input type="text"/> 人 | d. 派遣から直雇用への転換 <input type="text"/> 人 |
| b. 有期契約から限定正社員への転換 | <input type="text"/> 人 | |
| c. 有期契約から無限定正社員への転換 | <input type="text"/> 人 | |

b. 専門人材の状況

BQ41. 貴社に所属する、研究開発職、データサイエンティストの人数をお答えください。

また、そのうち博士課程修了者と外国人の人数は何名ですか。

※研究開発職は、大学卒または同等以上の専門知識を持ち、特定のテーマを持って研究開発を行っている、いわゆる研究開発本務者を指します。兼任の場合は、主業務が研究開発である場合のみ含めてください。業務の生産性をあげるための研究者や開発関連の業務に携わる方も含みます。

※営業部門の技術支援要員、社内システムエンジニア、システム会社・コンテンツ制作会社等で受託開発を行う技術者やクリエイターは除いてください。

※c. データサイエンティストとは、統計学、プログラミング言語、大規模データベース等について高度な知識や技能を持ち、データ分析やデジタルマーケティングを専門に行う人をさします。

※a. ～c. は重複せずご回答ください。

| | | | |
|--------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| | 全体 | うち博士課程修了者 | うち外国人 |
| a. 研究職 (基礎研究・技術研究) | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |
| b. 商品開発職 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |
| c. データサイエンティスト | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> 人 |

BQ42. 貴社に所属する、IT人材（正社員）の状況についてお答えください。

※cの先端IT人材は、ツールを利用するのみの人は含めず、プログラミング技術を持つ人やシステム開発の要件定義などを担当できるレベルの人材を想定しています。BQ41のデータサイエンティストと重複しても構いません。
 ※a～cは重複せずお答えください(情報・通信を主たる事業とする場合は、bが従業員の大半になると想定されます)。

| | 現状 | 目標 |
|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| a. 自社(自社グループ)の情報システム部門 | 約 <input type="text"/> 人 | |
| b. 自社以外のシステム開発・保守等が主たる業務の社員 | 約 <input type="text"/> 人 | |
| c. a・b以外の先端IT人材 | 約 <input type="text"/> 人 | 約 <input type="text"/> 人 |

**SQ. 上記cの【先端IT人材】の、貴社内での定義を簡潔にご記入ください。
 (公的な資格などでなくても、スキルマップ等に記載しているような内容で構いません)**

先端IT人材の定義(求めるスキルレベル)

6)エンゲージメント・モチベーション向上

a. 従業員調査

BQ43. 従業員に対して、会社の掲げる目標への理解度や自発的な貢献意識、働きがいや満足度を測る調査を実施していますか。(1つだけ)

※会社の満足度、働きがい、エンゲージメント、職場環境の評価などを聞く調査が該当します。
 キャリアの希望(自己申告書)、コンプライアンスや内部統制のチェックのみを聞くものは含みません。
 ※海外スタッフに関してはDQ23で訊いています。ここでは国内の調査についてお答えください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------------|--|
| 1. 実施していない | 4. 1年に1回、定期的を実施している | |
| 2. 不定期に実施している | 5. 1年に2回以上、定期的を実施している | |
| 3. 2～3年程度ごとに、定期的を実施している | | |

(以下、2～5を選択した場合)

SQ1. 調査の対象範囲(自社正社員以外)と対象人数についてお答えください。(いくつでも)

| | 調査の対象人数 |
|------------------------------------|---------|
| 1. 自社の直雇用の非正社員 | |
| 2. 自社の派遣社員 | |
| 3. 自社内に常駐している協力会社スタッフ(常駐SEや店舗スタッフ) | |
| 4. 国内グループ企業の従業員 | |

**SQ2. 従業員調査では、特にどのような指標を数値目標として重視していますか。
 特に重視している指標を2つまでお答えください。**

| | | |
|----------------------|--------------------|--|
| 1. 会社の理念や、掲げる目標への理解度 | 5. 利用できる制度の認知度・理解度 | |
| 2. 自社への自発的な貢献意識 | 6. その他 | |
| 3. 仕事の働きがい・満足度 | | |
| 4. ダイバーシティへの理解度 | | |

SQ3. 直近の調査について自社の正社員の回答率をお答えください。

※正社員のみ値が分からない場合は、全体の回答率でお答えください。 %

SQ4. 管理職や従業員に調査結果を共有していますか。(それぞれ1つだけ)

| | | | | |
|---------------|--------------|------------|--------|--------|
| 1. 自部署の結果のみ共有 | 2. 他部署も含めて共有 | 3. 共有していない | a. 管理職 | b. 従業員 |
| | | | | |

SQ5. 従業員調査の結果はどのように活用していますか。(いくつでも)

| | |
|-----------------------------------|--|
| 1. 経営会議で報告し、経営レベルで結果を議論 | |
| 2. 会議などの場で管理職間で共有し、改善策を検討 | |
| 3. 社員総会やイントラ・社内報などで全社員に公開 | |
| 4. 人事部スタッフなどが各部署・拠点に訪問説明し、職場改善を検討 | |
| 5. 専門チームが改善に向けグループワーク等の議論を行う | |
| 6. 社内SNS等を使い、改善に向け全社員参加型の議論を行う | |
| 7. その他 | |

b. 賃金体系

BQ44. 正社員の2019年度の平均年間給与についてお答えください。

※賞与、基準外賃金を含めてください。
 ※退職金の引当など給与所得に含まれないものは除いてください。詳細はこちらをご参照 [【給与について】](#)
 ※期中入退社の正社員は除いてご回答ください。

| 全体平均 | 25歳平均 | 45歳平均 | 参考 前年 |
|--|--|--|-------|
| <input style="width: 50px;" type="text"/> 千円 | <input style="width: 50px;" type="text"/> 千円 | <input style="width: 50px;" type="text"/> 千円 | [差込] |

BQ45. 基本給を「年齢・勤続年数」「職務・役割」「業績・成果」「その他（能力・職能等）」に分けた際に、「業績・成果」に連動する部分の割合はおよそどの程度ですか。

※②非管理職について、職種等によって異なる場合は大卒・総合職を原則としてお答えください。

管理職 約 % 非管理職 約 %

BQ46. 基本給以外の正社員と非正社員の待遇について、制度の有無や基準の差をご回答ください。（それぞれ1つだけ）

【選択肢】 1. 正社員と同じ基準である 3. 正社員にはあるが、非正社員にはない
2. 正社員と別の基準である 4. 正社員・非正社員共にない

| | 継続雇用以外の非正社員 | 継続雇用者 |
|-----------------------|-------------|-------|
| a. 通勤手当 | 1. 正社員と同じ | ブルダウン |
| b. その他手当（住宅手当、扶養手当など） | ブルダウン | ブルダウン |
| c. 賞与（業績連動報酬を含む） | ブルダウン | ブルダウン |
| d. 特別休暇 | ブルダウン | ブルダウン |
| e. 教育・訓練 | ブルダウン | |
| f. 退職金 | ブルダウン | |

c. 人事評価制度

BQ47. 人事考課について、被考課者に対して評価結果を開示していますか。（1つだけ）

1. 個人の総合評価と個別評価を開示 3. 希望する項目の評価のみ開示
2. 個人の総合評価のみを開示 4. 開示せず助言・指導のみしている

SQ. (1~3を選択した場合) 人事考課の結果について不満がある場合、会社に対して異議申し立てをする制度があり、それを利用して再評価をした人が2019年度にいますか。（1つだけ）

1. 制度があり、再評価を実施した人がいる 3. 制度がない
2. 制度はあるが、再評価を実施した人はいない

BQ48. 公正で客観的な人事考課を行うための施策をお答えください。（いくつでも）

1. 考課者研修の実施 4. 複数の考課者による考課の実施
2. 被考課者研修の実施 5. 360度評価の実施
3. 考課後に成長に向けたフィードバック面談を実施 6. 考課後に部署間の水準合わせを実施

【備考欄】 人材活用 の質問の回答について補足説明が必要な場合はご記入ください。

※回答欄に入りきらない追加回答などの記入はご遠慮ください(評価に際して考慮しません)。

CQ1. 貴社グループがCSR報告書等Web上で誰でも閲覧できる資料で開示している実績値および目標値についてご記入ください。

※ここでの資料とは、アニュアルレポート、統合報告書、CSR報告書、環境報告書等、ステークホルダーが様々な情報を一括して見られる資料(PDFやhtml)を想定しています。採用サイトでの掲載や報道機関への数値公開などは除いてください。
 ※定義は各社のもので構いませんが、公表していない値は(実際にはデータを保有していても)ご記入いただけません。

※指標の内容について意図している内容や、除いていただきたい内容はこちらをご参照ください。[【情報公開とKPIについて】](#)

内容の確認ができるよう、該当資料が掲載されているURLをご記入ください(出所資料が複数ある場合は代表的な1つ)
 資料URL:

- (1)値の範囲 1:国内のみ(自社単体・国内グループ等)
 2:全世界または国内・海外それぞれ

| 指標の内容を具体的に | (1) | (2)直近の公表値 | (3)目標年度 | (4)公表している目標値 |
|--|-----|-----------|---------|--------------|
| (例)女性管理職比率(課長級) | 1 | 4.5% | 2025年 | 10% |
| 1. 女性管理職比率または女性管理職人数 | | | 年 | |
| 2. 女性役員・管理職以外の女性活躍指標(賃金格差など) | | | 年 | |
| 3. 労働時間や残業時間 | | | 年 | |
| 4. 休暇取得に関する指標(有給休暇取得率など) | | | 年 | |
| 5. 女性の育児と仕事の両立に関する指標 | | | 年 | |
| 6. 男性育児休暇または介護休業・休暇に関する指標 | | | 年 | |
| 7. 採用に関する指標 | | | 年 | |
| 8. 離職に関する指標(離職率、離職者数など) | | | 年 | |
| 9. 就業継続に関する指標(定着率、復職率など) | | | 年 | |
| 10. 多様な人材活躍に関する指標(女性活躍以外) | | | 年 | |
| 11. 社員のスキル向上に関する指標 | | | 年 | |
| 12. 社員のキャリアパスに関する指標(職掌転換など) | | | 年 | |
| 13. 社員の賃金に関する指標(平均年収や賃上げ状況など) | | | 年 | |
| 14. 社員のモチベーションやエンゲージメントに関する指標 | | | 年 | |
| 15. 社内コミュニケーションに関する指標 | | | 年 | |
| 16. 社員の健康状態に関する指標 (健康診断、ストレスチェック受診率は除く) | | | 年 | |
| 17. 労働災害、メンタルヘルスに関する指標 | | | 年 | |
| 18. 取引先との関係に関する指標 | | | 年 | |
| 19. 海外事業所の現地化に関する指標 | | | 年 | |
| 20. 法令違反や行政指導に関する指標 | | | 年 | |
| 21. 製品・商品、環境、情報セキュリティ等に関する事故 (またはインシデント)、苦情に関する指標 | | | 年 | |
| 22. 内部者用相談窓口に関する指標 | | | 年 | |
| 23. 上記以外で貴社特有の指標(環境関連は除く) | | | 年 | |
| 24. 上記以外で貴社特有の指標(環境関連は除く) | | | 年 | |

CQ2. 以下の内容について、いつから社内で明示的に取り組み始めましたか。

※当設問は評価に使用致しませんので、率直なご回答をお願いします。
 ※「明示的な取り組み」は、責任者(担当役員)や部署の設置などを想定しています。
 ※現時点で明示的に取り組んでいない場合は、「取組なし」に「1」を入力してください。

| ダイバーシティ推進 | | 柔軟な働き方の推進 | | 健康経営 | |
|-----------|------|-----------|------|---------|------|
| 開始年(西暦) | | 開始年(西暦) | | 開始年(西暦) | |
| 年 | 取組なし | 年 | 取組なし | 年 | 取組なし |

CQ3. 貴社ではホワイトカラーの生産性向上を測る指標として、何を重視していますか。特に重視しているものを1~4、5~10から1つずつお答えください。

| | | |
|----------------------------|----------------------|----------|
| <成果指標> | | 1~4から1つ |
| 1. 一人当たり売上高(受注高・取扱高) | 3. 時間あたり売上高(受注高・取扱高) | □ |
| 2. 一人当たり利益(付加価値) | 4. 時間あたり利益(付加価値) | |
| <目標として測定する指標> | | 5~10から1つ |
| 5. 会議時間(またはその削減量) | 9. 削減した人員数、人日数 | □ |
| 6. 紙の量(またはその削減量) | 10. その他 | |
| 7. 余剰時間の創出量 | | |
| 8. 事務作業の削減量 | | |

CQ4. 生産性を向上させるための施策として、貴社が導入しているものをお答えください。(いくつでも)

| | |
|----------------------|---------------------------|
| □ 1. 会議資料、申請書類の完全電子化 | □ 6. テレビ会議システム |
| □ 2. フリーアドレス | □ 7. 集中スペースの設置 |
| □ 3. コワーキングスペースの設置 | □ 8. 外出先で社内資料が閲覧できるモバイル端末 |
| □ 4. 会議室の利用状況の可視化 | □ 9. その他 |
| □ 5. RPA | |

CQ5. 健康経営に関連し、定期健診結果などの健康医療情報を分析し、効果的・効率的な施策につなげる取り組みを実施していますか。(いくつでも)

※健保組合との共同でのコラボヘルスの取り組みも含めて頂いてかまいません。

| |
|---|
| □ 1. 自社が保有する、定期健診結果などの従業員の健康情報と人事・労務情報を突合し、分析 |
| □ 2. ストレスチェックの結果を集団分析 |
| □ 3. 保険者が保有する健康医療情報と自社が保有する健康関連情報を突合し、分析 |
| □ 4. ウェアラブル端末を配布し、健康関連データを測定 |
| □ 5. スマートフォンアプリを配布し、健康関連データを取得・測定 |
| □ 6. プレゼンティズムなど、従業員の生産性をアンケートで測定 |
| □ 7. 従業員に健康情報を見える化する個人用サイトを提供 |
| □ 8. その他 |

CQ6. 健康経営に関連して、特にデータ分析についての先進的な取り組みを、特になければそれ以外の健康経営に関する独自の取り組みを200文字以内でお答えください。

※労働時間削減に関する施策はこの設問では原則除いてご回答ください。

字数 0

取り組みの概要(前Qの選択肢から近いもの1つ)

※データ分析の取り組み以外の場合は、「9」を記入してください。

CQ7. 貴社ではどういったことをイノベーション・市場開拓として捉えていますか。(いくつでも) またその中で最も力を入れているのはどれですか。(1つだけ)

[対象部門の考え方ガイド]

※自社組織に関するイノベーションは本調査内では人材活用に含まれるので、除いています

| | |
|--|--|
| <イノベーション> | |
| □ 1. 基礎研究(新たな技術、資源、手法等の開発) | □ 7. 製品・サービスのデザインや包装の大幅な変更 |
| □ 2. 既存の事業内での、新たな製品・商品・サービスの開発 | □ 8. 新たな販売促進方法の開発・導入 (ビッグデータの活用やSNSマーケティングなど) |
| □ 3. 新規事業の創出 | □ 9. 新たな価格設定に関する手法 (AIの活用など)の開発・導入 |
| □ 4. 調達工程の変革や、新たな調達手法の開発・導入 | 1~10で最も注力 |
| □ 5. 生産工程の変革や、新たな生産手法の開発・導入 | |
| □ 6. 配送方法、流通方法、サービス提供方法等の変革や、新たな手法の開発・導入 | |
| □ 10. その他 | |
| <市場開拓> | |
| □ 11. 企業ブランド構築、企業イメージ向上 | □ 13. 新たなターゲット層の設定 |
| □ 12. 自社内の個別の事業、商品、サービスの広告宣伝や情報発信 | □ 14. 新たな地域への進出(海外進出を含む) |
| □ 15. 資本参加や買収によるシェアの拡大や苦手分野の補完 | |
| □ 16. ネット取引への進出、リアル(実店舗)取引への進出、オムニチャネル化など販売チャネルの変革 | 11~18で最も注力 |
| □ 17. ビッグデータの活用やSNSマーケティングなどによる新たな顧客開発、販促手法の確立 | |
| □ 18. その他 | |

CQ8. イノベーション・市場開拓に関する定量的な目標 (KPI) として、どのようなものを設定していますか。主なものを5つを挙げ、CQ7との関連、内容、達成期限、目標値を具体的にご記入ください。

(1) CQ7との関連 (上記1~18から1つ) (2) 具体的なKPIの内容 (3) 期限 (4) 目標値

| 例) | 1 特許の出願件数 | 2025 年 | 現在の2倍 |
|----|-----------|--------|-------|
| | | 年 | |
| | | 年 | |
| | | 年 | |
| | | 年 | |
| | | 年 | |

CQ9. 人材活用、イノベーション、市場開拓のそれぞれについて、統括する責任者を設置していますか。(それぞれ1つだけ)

1. 経営トップ (CEO等) が統括 2. 役員、執行役員以上で設置
3. 本部長、部長以下のクラスで設置 4. 設置していない

| 人材活用 | イノベーション | 市場開拓 |
|------|---------|------|
| | | |

テクノロジーの導入・活用

CQ10. 貴社が、従業員や組織のパフォーマンス向上のために導入している IoT・ビッグデータ・AI等のICT技術・デバイスについてお答えください。 (以外の目的で導入)

【ICT技術・デバイスの内容に関する選択肢】 従業員や組織のパフォーマンス向上のために導入 (いくつかでも)

| | | | |
|--------------------------|------------------------|--------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. AI (深層学習中心) | <input type="checkbox"/> | 20. グループ全体のデータ一元化 (人事データ、取引先データ等) |
| <input type="checkbox"/> | 2. AI (機械学習中心) | <input type="checkbox"/> | 21. ビジネスチャットツール |
| <input type="checkbox"/> | 3. RPA | <input type="checkbox"/> | 22. クラウドストレージ |
| <input type="checkbox"/> | 4. 画像・動画認識 | <input type="checkbox"/> | 23. シンクライアント端末 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 音声認識 | <input type="checkbox"/> | 24. テレビ会議システム |
| <input type="checkbox"/> | 6. 自然言語処理 | <input type="checkbox"/> | 25. RFID |
| <input type="checkbox"/> | 7. 自動翻訳 | <input type="checkbox"/> | 26. ドローン |
| <input type="checkbox"/> | 8. テキストマイニング | <input type="checkbox"/> | 27. VR/AR |
| <input type="checkbox"/> | 9. センサー技術 | <input type="checkbox"/> | 28. ロボット |
| <input type="checkbox"/> | 10. GPS・位置データの活用 | <input type="checkbox"/> | 29. 3Dプリンター |
| <input type="checkbox"/> | 11. 生体情報取得/生体認証 | <input type="checkbox"/> | 30. ソーシャルメディア分析 |
| <input type="checkbox"/> | 12. 対話型UI・チャットボット | <input type="checkbox"/> | 31. オープンデータ活用 (気象データ・地図データなど) |
| <input type="checkbox"/> | 13. スマートデバイス | <input type="checkbox"/> | 32. 自律走行/自動運転 |
| <input type="checkbox"/> | 14. ウェアラブル端末 | <input type="checkbox"/> | 33. ブロックチェーン |
| <input type="checkbox"/> | 15. スマートフォンアプリ | <input type="checkbox"/> | 34. デジタル・フォレンジック |
| <input type="checkbox"/> | 16. BIツール | <input type="checkbox"/> | 35. ID-POSデータ分析 |
| <input type="checkbox"/> | 17. リアルタイム表示ツール | <input type="checkbox"/> | 36. 自社APIの公開 |
| <input type="checkbox"/> | 18. ワークフォース・マネジメントシステム | | |
| <input type="checkbox"/> | 19. 行動のデータ化、可視化 | | |

CQ11. CQ10で選択したICT技術・デバイスを使った取り組みのうち、特に他社と比較して先進的と思われる事例、もしくは貴社内で特に大きな効果を挙げている事例についてお答えください。

【導入目的・用途に関する選択肢】

| | | |
|---|---|--|
| <p><従業員・組織のパフォーマンス向上></p> <p>1. 業務の効率化</p> <p>2. 業務の付加価値向上</p> <p>3. 場所によらない柔軟な働き方の実現</p> <p>4. 従業員の健康保持・増進</p> <p>5. 人材育成・スキル向上</p> <p>6. 従業員のエンゲージメント向上</p> <p>7. 従業員の適正評価</p> <p>8. 人材の最適な配置</p> <p>9. 従業員間コミュニケーションの円滑化</p> <p>10. 部署間の情報共有の円滑化</p> <p>11. 拠点間等の遠隔コミュニケーションの円滑化</p> <p>12. 採用活動の最適化・効率化</p> | <p><工場・店舗等のプロセス改革></p> <p>13. 業務効率・生産性向上</p> <p>14. 作業人員の大幅削減・無人化</p> <p>15. 不足している労働力の補完</p> <p>16. 在庫量の削減</p> <p>17. リードタイムの減少</p> <p>18. 作業の単純化/力仕事の削減</p> <p>19. 事故の軽減/安全性の向上</p> <p><新製品・新事業の開発></p> <p>20. 既存商品・サービスの付加価値向上</p> <p>21. 既存技術を活かした新分野への進出</p> <p>22. 既存商品・サービスとの連動性・拡張性向上</p> | <p><市場開拓・販促・顧客満足向上></p> <p>23. ターゲティングによる営業効率向上</p> <p>24. 顧客単価の上昇</p> <p>25. 離反/休眠顧客の呼び戻し</p> <p>26. 販促費用の削減</p> <p>27. 販促・営業の迅速化</p> <p>28. 顧客満足度の向上</p> <p>29. リピート率の上昇</p> <p><顧客サポート・メンテナンス></p> <p>30. 問題の発生/クレームの低減</p> <p>31. 盗難・不正利用の減少</p> <p>32. 消耗品等付随商品の売上向上</p> <p>33. 他部門へのフィードバック精度向上</p> <p>34. シフト配置の最適化</p> |
|---|---|--|

事例は4つまで挙げていただけます。それぞれ別の事例をご記入ください。 [【事例選択のガイド】](#)

※従業員や組織のパフォーマンス向上の事例、それ以外の事例、いずれの事例をご記入いただいても構いませんが、できるだけ人材活用、イノベーション、市場開拓に該当する事例を最低1つずつは含めるようにしてください。

事例1

1a. 活用事例の具体的な内容を、200字以内でご記入ください。

字数 0

1b. この活用事例に含まれるICT技術・デバイス（3つまで）

※【ICT技術・デバイスに関する選択肢】から選択してください。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

1c. このテクノロジーを導入している主な目的（3つまで）

※【導入目的・用途に関する選択肢】から選択してください。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

1d. このテクノロジーが他社と比較して先進的な事例である場合にはその根拠を、
貴社内での効果が大きい事例である場合にはその効果を定量的にご記入ください。

先進的な事例である根拠（100字以内）

字数 0

導入の効果を定量的に（100字以内）

字数 0

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

事例2

2a. 活用事例の具体的な内容を、200字以内でご記入ください。

字数 0

2b. この活用事例に含まれるICT技術・デバイス（3つまで）

※【ICT技術・デバイスに関する選択肢】から選択してください。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

2c. このテクノロジーを導入している主な目的（3つまで）

※【導入目的・用途に関する選択肢】から選択してください。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

2d. このテクノロジーが他社と比較して先進的な事例である場合にはその根拠を、
貴社内での効果が大きい事例である場合にはその効果を定量的にご記入ください。

先進的な事例である根拠（100字以内）

字数 0

導入の効果を定量的に（100字以内）

字数 0

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

事例3

3a. 活用事例の具体的な内容を、200字以内でご記入ください。

字数 0

3b. この活用事例に含まれるICT技術・デバイス（3つまで）

※【ICT技術・デバイスの内容に関する選択肢】から選択してください。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

3c. このテクノロジーを導入している主な目的（3つまで）

※【導入目的・用途に関する選択肢】から選択してください。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

3d. このテクノロジーが他社と比較して先進的な事例である場合にはその根拠を、
貴社内での効果が大きい事例である場合にはその効果を定量的にご記入ください。

先進的な事例である根拠（100字以内）

字数 0

導入の効果を定量的に（100字以内）

字数 0

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

事例4

4a. 活用事例の具体的な内容を、200字以内でご記入ください。

字数 0

4b. この活用事例に含まれるICT技術・デバイス（3つまで）

※【ICT技術・デバイスの内容に関する選択肢】から選択してください。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

4c. このテクノロジーを導入している主な目的（3つまで）

※【導入目的・用途に関する選択肢】から選択してください。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

4d. このテクノロジーが他社と比較して先進的な事例である場合にはその根拠を、
貴社内での効果が大きい事例である場合にはその効果を定量的にご記入ください。

先進的な事例である根拠（100字以内）

字数 0

導入の効果を定量的に（100字以内）

字数 0

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

イノベーション・市場開拓

当調査における**イノベーション**は、新たな技術や資源、手法等による製品・サービス開発や提供のほか、販売経路、販売促進方法、価格設定、(製品サービスの形や包装等)デザイン等のマーケティング面での新たな手法の開発や導入・活用などを含むものとします。
 当調査における**市場開拓**は、広告宣伝や情報発信など各種コミュニケーション活動、他社との連携や海外への進出などを通じた市場拡大やシェアの拡大、それらを実現するためのデジタルマーケティングやビッグデータ活用といったテクノロジーの導入・活用などを含むものとします。

1)イノベーション・市場開拓の推進体制

DQ1.イノベーション・市場開拓を推進するために、貴社では提案制度(またはそれに類する仕組み)を用意していますか。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. グループ会社含むグローバル共通の制度がある | 3. 一部事業部門/カンパニーで制度がある |
| 2. 自社単体で全社共通の制度がある | 4. 制度・仕組みはない |

SQ1. (1~3を選択した場合)具体的にはどのような制度ですか。(いくつでも)

※1つの制度は最も近い1つの選択肢に対応する形とし、1つの制度で複数の選択肢にはつけないでください。

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| 1. 新規事業提案制度 | 3. 既存事業内での新商品提案制度 |
| 2. 業務に関する改善提案制度 | 4. 部門や事業所間で提案/取り組みの内容を競うコンテスト |

SQ2.上記の制度により、実際に会社からの投資が行われた件数はどの程度ですか。

※個人への賞金や、お金をかけずにできる改善活動等は件数から除いてください。

| | |
|--------------------------|--------------------------|
| 2018年度 | 2019年度 |
| 約 <input type="text"/> 件 | 約 <input type="text"/> 件 |

DQ2.貴社には社内ベンチャー制度がありますか。(1つだけ)

また社内ベンチャー制度を利用するなどしてスピノフした企業は2017~19年度で何社ありますか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 制度があり、スピノフの実績がある |
| 2. 制度があり、スピノフの実績はないが現在社内ベンチャーが存在する |
| 3. 制度はないがスピノフ実績はある |
| 4. 制度がない、または現在活用されていない |

スピノフ社数

社
 1,3の場合 →→→

DQ3.貴社で知的財産として方針を定める対象としているものはどれですか。(いくつでも)

- | | | |
|----------|------------|-----------------------|
| 1. 特許権 | 4. 商標権 | 7. 育成者権(植物の新品種に関する権利) |
| 2. 実用新案権 | 5. 著作権 | 8. ノウハウ |
| 3. 意匠権 | 6. 回路配置利用権 | |

DQ4.知的財産に関して、貴社で実施している内容を選択してください。(いくつでも)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 知的財産に関する方針を明文化し、外部に公開 |
| <input type="checkbox"/> 2. 知的財産活動の状況を社外に開示 |
| <input type="checkbox"/> 3. 開放特許について公的なデータベースに登録→名称: <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 4. 開放特許について自社サイト内で公開 →URL: <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 5. 知的財産を管理する社員がいる → 専任社員の有無: 1.専任社員がいる 2.いない <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 6. 企業内弁理士を採用している |
| <input type="checkbox"/> 7. 従業員の「特許権」「実用新案権」「意匠権」等の出願または登録時に報奨金を支払う規定が明文化されている |
| <input type="checkbox"/> 8. 連携に際し、知財の取り扱いや利益の配分等の交渉を担当する専門の社員がいる |
| <input type="checkbox"/> 9. 社内で活用できていない技術や特許が全社横断的にデータベース等に集約されている |
| <input type="checkbox"/> 10. 外部の知的財産のライセンス利用 |

DQ5.DQ1の提案制度の賞金やDQ4の7.の報奨金などの規定に基づき、2017~19年度の3年間で、従業員個人に支払われた報奨金はいくらですか。

※業績・評価連動賞与などの部分は除き、賞金や報奨金の規定により個人に支払われた金額をお答えください。

約 万円

2)社外との連携

DQ6.2017~2019年度の3年間に、新たな技術や資源、手法等による製品・サービス開発や提供、新たなマーケティング手法の導入などのイノベーションを推進するため、以下のような取り組みを行っていますか。(いくつでも)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. CVC(Corporate Venture Capital)の設立 | <input type="checkbox"/> 8. イノベーションを仲介する企業やサービスの活用 |
| <input type="checkbox"/> 2. ベンチャーファンドへのLP出資 | <input type="checkbox"/> 9. 大学の技術移転機関(TLO)の活用 |
| <input type="checkbox"/> 3. ベンチャー企業へのM&A(国内) | <input type="checkbox"/> 10. デファクトスタンダード形成のための標準化団体への参加 |
| <input type="checkbox"/> 4. ベンチャー企業へのM&A(海外) | <input type="checkbox"/> 11. エコシステム形成のため、川上・川下企業等への投資 |
| <input type="checkbox"/> 5. 国内企業との合弁会社設立 | <input type="checkbox"/> 12. ビジネスコンテストを主催・共催、または審査員として参加 |
| <input type="checkbox"/> 6. 海外企業との合弁会社設立 | <input type="checkbox"/> 13. ハッカソン・アイデアソンの主催 |
| <input type="checkbox"/> 7. 外部人材(技術者、研究者、目利き人材など)との連携 | <input type="checkbox"/> 14. アクセラレータープログラムの主催 |
| <input type="checkbox"/> 15. その他 <input type="text"/> | |

DQ7. 2019年度に、以下のような外部機関と共同開発もしくは共同研究を行ったプロジェクトはありますか。実施したプロジェクトの件数をお答えください。

※複数企業・機関とのプロジェクトで複数の枠に該当する場合、件数は重複しないようにどちらか一方に寄せてご回答ください。
 ※共同開発・研究に含めるもの: 成果物の所有権等が対等に近く、体外的に論文・リリース等で双方の社名が出るもの
 共同開発・研究に含めないもの: 上記に該当しない一般的な受託(委託)業務

| | 国内企業・団体 | 海外企業・団体 |
|-----------------------|---------|---------|
| a. 大学等外部研究機関 | 件 | 件 |
| b. ベンチャー企業 | 件 | 件 |
| c. b以外の外部企業(グループ会社除く) | 件 | 件 |

DQ8. 研究・開発力を高めたり、他社との協業をスムーズにするために、どのようなことに取り組んでいますか。(いくつでも)

| <研究・開発力を高める取り組み> | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. CTOやCINOなどイノベーション担当役員を設置している |
| <input type="checkbox"/> | 2. 開発/研究部門以外の社員に対し、担当業務以外のことに一定時間を使うことが制度化されている |
| <input type="checkbox"/> | 3. 発明や開発に対し、開発/研究部門だけでなく関連する別部門の社員にも報奨金や表彰が行われる制度がある |
| <input type="checkbox"/> | 4. 社内調整等により新事業立ち上げで遅れをとることがないように、通常よりも意思決定スピードを上げる仕組みがある |
| <input type="checkbox"/> | 5. 新事業立ち上げのスピードを重視し、スモールスタートが行いやすい仕組みがある |
| <他社(特にベンチャーやスタートアップ)との協業をスムーズにする取り組み> | |
| <input type="checkbox"/> | 6. オープンイノベーション推進、技術や提携先の探索を行う全社横断的な専門組織またはプロジェクトチームがある |
| <input type="checkbox"/> | 7. オープンイノベーション拠点がある名称: <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> | 8. 協業先との必要に応じて柔軟にスピンオフ等の対応ができるよう、スピンオフの際の規定や支援策が整備されている |
| <input type="checkbox"/> | 9. 予算規模によっては、外部連携やベンチャー企業買収の意思決定が事業部門の責任者に権限委譲されている |
| <input type="checkbox"/> | 10. 協業・連携の際に活用できる(通常受発注契約とは異なる)契約書のひな形や条件規定書などが整備されている |
| <input type="checkbox"/> | 11. スタートアップとの連携の際は、契約内容の変更や支払などが通常より速く、柔軟に行えるような仕組みがある |

SQ. 直近1年間の協業・連携の案件のうち、上記10・11に該当するようなベンチャー・スタートアップ向けの仕組み(通常よりも柔軟・スピーディーな仕組み)が適用されているケースは、案件ベースで全体のおよそどの程度の割合に相当しますか。(1つだけ)

| | | | | | | | |
|--------------------------|------------|--------------------------|-------------|--------------------------|-------------|--------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 5%未満 | <input type="checkbox"/> | 3. 10~20%未満 | <input type="checkbox"/> | 5. 30~40%未満 | <input type="checkbox"/> | 7. 50%以上 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 5~10%未満 | <input type="checkbox"/> | 4. 20~30%未満 | <input type="checkbox"/> | 6. 40~50%未満 | <input type="checkbox"/> | |

3)イノベーションへの投資、イノベーション人材

DQ9. 貴社の研究開発費、ICT(情報化)投資額をそれぞれご記入ください。

※一部の金額が不明な場合は、把握している範囲でご記入ください。
 ※研究・開発の費用には、会計上「研究開発費(売上原価・販管費)」に含めている費用の他、以下の費用を含めてください。
 ・新しい製品・サービスの開発、既存の製品・サービスの改良のためのマーケティング、市場調査、企画立案のための費用(人件費も含む。ただしコールセンター対応、営業等の費用は除く)
 ・営業部門の技術支援、店舗の技術支援のための研究などの費用(人件費も含む)
 ※ICT投資額は、ハードウェア、ソフトウェア、ハードウェアの保守、その他サービスに対する投資額(費用と投下資本)のほか、ITに関する人材への投資額(研修費など)を含みます。(社内人件費、消耗品、回線料は含みません)
 定義についての詳細はこちらをご覧ください⇒ [【ICT投資について】](#)

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度(見込) | 2021年度(予定) |
|--------|--------|--------|------------|------------|
| 研究開発費 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| ICT投資額 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |

DQ10. 貴社で行っている人材交流についてお答えください。

| | | | |
|--------------------------|------------------------|--------------------------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. ベンチャー企業への従業員の派遣(国内) | <input type="checkbox"/> | 4. データ分析の専門家を外部から登用 |
| <input type="checkbox"/> | 2. ベンチャー企業への従業員の派遣(海外) | <input type="checkbox"/> | 5. AIや機械学習の専門家を外部から登用 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 大学等外部研究機関との人材交流 | | |

SQ. 上記に該当するような人材交流で、現在常勤または兼務で相手先企業・団体に勤務している社員、常勤または兼務で自社で勤務している専門人材の人数についてお答えください。

※契約形態は正社員に限りませんが、役員としての勤務や顧問契約等は除いてください。
 ※グループ会社間の出向は除いてください。

出向等人数(相手先で勤務) 人 受け入れ人数(自社で勤務) 人

DQ11. 研究・開発部門メンバーのモチベーションを高めるための貴社の制度や取り組みについてお答えください。（いくつでも）

- | | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 研究・開発部門がない、または非常に小さいチームや担当(概ね10人未満)のみ |
| <input type="checkbox"/> | 2. 新規事業提案や改善提案に関して、評価基準を設け人事評価に反映している |
| <input type="checkbox"/> | 3. 基礎研究など短期的に成果の出にくい研究開発に関して、短期的な成果とは別の評価基準を設けるなど人事評価や予算獲得などの面で不利にならないような制度設計となっている |
| <input type="checkbox"/> | 4. 管理職になる以外に、専門分野を極める昇進ルートが整備されている(フェロー職など、職掌として明確に区分) |
| <input type="checkbox"/> | 5. 開発/研究部門等の社員に、通常の業務とは別に個人の興味・関心に基づく研究や勉強・情報収集を行える時間を制度として設けている |
| <input type="checkbox"/> | 6. 開発/研究部門に、用途を限定せず(投資内容について部門長以上の稟議などが不要なく)使える予算枠を設けている |

SQ1. (4を選択した場合) 実際にフェロー職など特別な名称がついた、職位の高い専門職についている人はどのくらいいますか。 人

SQ2. 上記1~6の補足もしくは上記以外で、貴社独特のユニークな施策や、先進的な施策等があればご記入ください。（100字程度） 0

DQ12. 貴社のAI・IoTやビッグデータといった新しいテクノロジーとの関わりについて、該当するものを選択してください。（いくつでも）

- | | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 直近3年の間にAI・IoTやビッグデータなどの新技術を専門に扱うベンチャー企業と提携した |
| <input type="checkbox"/> | 2. 直近3年の間にAI・IoTやビッグデータなどの新技術を専門に扱う子会社または合弁会社を立ち上げた |
| <input type="checkbox"/> | 3. 全社横断的に研究開発や他社との提携などを検討する専門部署またはプロジェクトチームがある |
| <input type="checkbox"/> | 4. 自社が所有または事業活動の中で収集されるビッグデータについて、全社横断的に把握している部署がある |
| <input type="checkbox"/> | 5. 専門部署や特定の社員だけでなく、総合職相当の社員に広くAI・IoT等に関する教育を行っている |
| <input type="checkbox"/> | 6. AI・機械学習等導入の中核となる人材には、半年以上の集中的な育成プログラムを実施している |
| <input type="checkbox"/> | 7. データサイエンティストの社内育成を行っている |
| <input type="checkbox"/> | 8. 社員のAIや機械学習に関するプログラミング言語の習得を支援している(費用補助、社内研修の実施等) |
| <input type="checkbox"/> | 9. 自社の所有するビッグデータの分析を外部の専門機関に依頼している |

DQ13. イノベーションを起こす人材・組織をつくる上で、貴社では特にどのような課題があると考えていますか。主な課題とその課題を解決するために貴社が実施している施策、その施策の効果についてご記入ください。

【課題の選択肢】

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 日々の業務に追われて余剰時間が無い 異質な社員が少なく、新しいアイデアが出にくい AI・IoTやビッグデータなど新技術への理解がある社員が少ない イノベーションに適した人材が、従来の評価基準では評価されづらい 自社の所属する業種はイノベーションと関連が薄いと考えている社員が多い 新事業開発部門など特定の部門以外の社員の関心が薄い 部門間の連携・異動が少なく、新たな発想を採り入れる機会が少ない チャレンジへの失敗に寛容でない 新技術や新事業への投資の意思決定を素早く行うことが難しい その他 <input type="text"/> | 代表的な課題 (2つまで) <input type="text"/> <input type="text"/> |
|--|--|

課題への対応策（150字以内） 0 **効果を具体的に（100字以内）** 0

| | |
|----------------------|----------------------|
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
|----------------------|----------------------|

4) 新製品・サービスの投入

DQ14. 貴社の主力事業においては、新製品・サービス、新規事業をどのように定義していますか。最も近いものを選択してください。（1つだけ）

- | | |
|--|----------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 上市後(発売後、リリース後)の期間によって定義している 貴社にとって新しい科学的知識や技術・工法を用いたものと定義している(受注産業など) 製品・サービス単位ではなく、新しい販売チャネルなどを利用してものを新規事業と定義している 新しいビジネスモデルによる収益を新規事業と定義している 新しい顧客や既存の顧客の新しい案件を新規事業と定義している | <input type="text"/> |
|--|----------------------|

SQ. DQ14の定義における、貴社の新製品・サービス、新規事業が貴社の全体の売上高に占める割合はどの程度ですか。また、目標としてはどの程度を設定していますか。

現在 % 目標 %

5) 広報・広告宣伝

DQ15. 貴社グループが広告宣伝・広報のために支出した費用についてご記入ください。

※一部の金額が不明な場合は、把握している範囲でご記入ください。

※広告宣伝・広報の費用には、以下の費用を含めてください。

- ・会計上「広告宣伝費」に含めている費用(値引きや販売奨励金などの販売促進費は除く)
- ・IR、プレスリリース、Webサイトの制作など、不特定多数に情報を公開するための費用(人件費は除く)

| | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 広告宣伝・広報の費用 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 |

DQ16. アプリやSNS等の活用についてお答えください。(いくつでも)

| | | | |
|--------------------------|--|--------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 自社の公式アプリを提供している | <input type="checkbox"/> | 3. 自社の公式アプリで、直接売上を獲得している(有料課金) |
| <input type="checkbox"/> | 2. 公式SNSアカウント(日本語)を保有している | <input type="checkbox"/> | 4. 日本語以外のSNSアカウントを保有し発信している |
| <input type="checkbox"/> | 5. ソーシャルメディアの専属担当者がある | | |
| <input type="checkbox"/> | 6. 公式SNSアカウントで、フォロワーや他社公式アカウントなどとも日常的にコミュニケーションを取っている | | |
| <input type="checkbox"/> | 7. 公式SNSアカウントを双方向に活用し、キャンペーン応募、投票などのイベントを行っている | | |
| <input type="checkbox"/> | 8. SNS上でチャットボットを活用している | | |
| | →具体的な内容: <input type="text"/> | | |
| <input type="checkbox"/> | 9. 特定の社員(役員以外の一般社員)が、会社の承認のもと社名・実名を出してSNSで情報発信をしている | | |
| <input type="checkbox"/> | 10. 消費者が発信するブログやSNSなどを自動的に収集・ワード分析するなどして戦略的に活用する仕組みがある | | |

6) 顧客対応・顧客把握

DQ17. 貴社の国内従業員のうち、顧客との接点となる職種としてどのような方がいますか。全社の従業員の中で割合が高いものから順に2つまで選択してください。

1. アカウント営業、ルート営業
2. サポートセンター、カスタマーセンター(主に電話やメールでの対応)
3. システムエンジニアなど客先常駐
4. 店舗・窓口スタッフ
5. その他のサービススタッフ(駅員、保育・介護スタッフなど)

【職種選択のガイド】

| 職種 | 職種 |
|----------------------|----------------------|
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |

本社スタッフやバックオフィスのスタッフと比較して、上記の職種のスタッフの働きやすさや働きがい、定着などについてどういった課題があると考えていますか。課題とその課題を解決するために実施している施策、その施策の効果についてご記入ください。

【課題の選択肢】

- | | |
|--|--|
| 1. パート・アルバイトなどの実働スタッフが集まらない、またはシフトが埋まらない | 8. 少人数のチームであることで、仕事の分担や人間関係などの融通が利きにくい |
| 2. 労働時間が長い、休みが取りづらい | 9. 扱う商材・サービスについての専門知識が不足している |
| 3. クレーム対応などで心理的負担が大きい | 10. 勤務時間外にもメール・電話等で対応が求められる |
| 4. オフィスが本社から離れており一体感を感じにくい | 11. 業務の特性上、労災や事故が発生しやすい |
| 5. 時間外に問題が発生した際などのサポート体制が弱い | 12. 情報が伝わりにくい |
| 6. シフト勤務など時間的に不規則な勤務体系 | 13. その他 <input type="text"/> |
| 7. 非正社員のスタッフに、十分な教育が行き届かない | |

職種

代表的な課題
(2つまで)

| | |
|----------------------|----------------------|
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
|----------------------|----------------------|

課題への対応策(150字以内)

0

効果を具体的に(100字以内)

0

| | |
|----------------------|----------------------|
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
|----------------------|----------------------|

職種

代表的な課題
(2つまで)

| | |
|----------------------|----------------------|
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
|----------------------|----------------------|

課題への対応策(150字以内)

0

効果を具体的に(100字以内)

0

| | |
|----------------------|----------------------|
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |
|----------------------|----------------------|

DQ18. 顧客満足度をどのような形で測定していますか。(いくつでも)

※自社内での実施だけでなく、調査会社等外部に委託して実施しているものも含めてください。

| | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|---|--|---|
| 1. 顧客担当とは別の担当者が訪問・架電し、ヒアリング | 年間ヒアリング件数 | 約 | | 件 |
| 2. 店頭や展示会で聞き取り調査等を実施 | 年間回収件数 | 約 | | 件 |
| 3. 調査票を顧客に配布(郵送、メール、手渡し)し、回収 | 年間回収件数 | 約 | | 件 |
| 4. インターネットのアンケートサイトを作成し、実施 | 年間回答件数 | 約 | | 件 |
| 5. 商品添付の「お客様カード」や店頭の「お客様の声」等の分析 | 年間回収件数 | 約 | | 件 |
| 6. SNSやブログの解析を通じて測定 | | | | |
| 7. HPのお問い合わせ、アプリのフィードバック等の収集・分析 | 8. 会場調査やグループインタビュー、ホームユーステスト等の実施 | | | |
| | 9. 専門機関の調査結果を活用(JDパワー、JCSI等) | | | |

7) 業界を主導する事業・技術

DQ19. 貴社グループの主力事業または主力製品・サービスの中で、市場開拓の観点から高シェアや事業の先進性などにより業界を主導していると考えるものについて、代表的なものを2つまでお答えください。

※既にプレスリリースが出ているなど、社外に事業内容を公表可能なレベルの内容をご記入ください。

※以下の業種に属する場合、1-1・1-2は選択いただけません。2以降の事例を選択してください。

総合商社、電力・ガス業、不動産業、旅客輸送業(鉄道・バス・航空等)、建設業、金融業、通信業

[業界を主導している内容: 選択肢]

| | | |
|---|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 全世界またはある地域・分野で非常に高いシェアを有している(目安としてシェア50%以上) | | |
| 1-1.世界的に非常に高いシェアの製品(群)を有する(グローバルニッチトップ) | | |
| 1-2.特定の国や国内の特定地域で高いシェアの商品・サービスがある | | |
| 2. 他社に先駆けて新しいビジネスモデルへの転換を果たしている | | |
| 2-1.サブスクリプション型事業 | 2-4.ビッグデータの保有・提供等の事業 | 2-7.その他の新たなビジネスモデル |
| 2-2.シェアリング事業 | 2-5.コンシェルジュ事業 | |
| 2-3.マッチング事業 | 2-6.ダイナミックプライシングなど個人別カスタマイズ | |
| 3. 最先端技術の実用化に取り組んでいる | | |
| 3-1.宇宙/海中/地中などへの進出 | 3-5.バイオ・遺伝子・最先端医療 | |
| 3-2.エッジコンピューティング/量子コンピューティング | 3-6.無人化・完全自動化 | |
| 3-3.仮想通貨やブロックチェーンの活用 | 3-7.人間のアシスト技術 | |
| 3-4.ハプティクスやVR・AR | 3-8.その他の最先端技術 | |
| 4. 行政と共同での実証実験など、多くの企業が関わる大規模プロジェクトを主導している | | |
| 4-1.自動運転など交通関連 | 4-3.災害対策関連 | 4-5.5Gなど通信関連 |
| 4-2.シェアリング、決済など経済関連 | 4-4.エネルギー関連 | 4-6.その他の実証実験など大規模プロジェクト |

業界を主導する事業・技術

主導内容 選択 事業名称

高シェア事業(1-1、1-2)の場合

市場名 売上高ベース 約 億円 × 約 市場規模 億円 × 約 占有率 %

先進的な事業(2、3、4)の場合

事業の内容(150字以内) 0 主導的である根拠(100字以内) 0

業界を主導する事業・技術

主導内容 選択 事業名称

高シェア事業(1-1、1-2)の場合

市場名 売上高ベース 約 億円 × 約 市場規模 億円 × 約 占有率 %

先進的な事業(2、3、4)の場合

事業の内容(150字以内) 0 主導的である根拠(100字以内) 0

8) 海外進出

DQ20. 貴社グループの連結従業員に占める海外拠点の従業員（日本からの駐在員・ローカルスタッフの合計）はおよそ何割程度ですか。（1つだけ）

| | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 1. 1割未満 | 3. 2~3割未満 | 5. 4~5割未満 | 7. 7~9割未満 | |
| 2. 1~2割未満 | 4. 3~4割未満 | 6. 5~7割未満 | 8. 9割以上 | |

以下の設問は、DQ20の割合が1割を超える（2~8を選択）企業のみご回答ください。

DQ21. 貴社グループの中で最も海外スタッフが多く在籍する地域において、海外スタッフの離職率（年間）はおよそどの程度ですか。（1つだけ）

| | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|--|
| 1. 1%未満 | 4. 5~7%未満 | 7. 15~20%未満 | 10. 30%以上 | |
| 2. 1~3%未満 | 5. 7~10%未満 | 8. 20~25%未満 | 11. 把握していない | |
| 3. 3~5%未満 | 6. 10~15%未満 | 9. 25~30%未満 | | |

DQ22. 海外現地法人における、日本人の取締役比率はどの程度ですか。 約 %

DQ23. 海外現地法人での従業員意識調査を実施していますか。（それぞれ1つだけ）

※会社の満足度、働きがい、エンゲージメント、職場環境の評価などを聞く調査が該当します。
キャリアの希望（自己申告書）、コンプライアンスや内部統制のチェックのみを聞くものは含みません。

< 頻度 >

| | | |
|---------------|-------------------------|--|
| 1. 実施していない | 3. 1年に1回以上、定期的を実施している | |
| 2. 不定期に実施している | 4. 2~3年程度ごとに、定期的を実施している | |

< 範囲 >

| | | |
|---------------------------|-------------------|--|
| 1. 拠点ごとに実施しており、本社で把握していない | 3. 全海外スタッフの5~8割未満 | |
| 2. 全海外スタッフの5割未満 | 4. 全海外スタッフの8割以上 | |

調査の対象人数 約 人 調査の回答率 約 %

< 調査の内容 >

| | | |
|---------------|--|------------------------|
| 1. 国内での調査と同じ | | 異なる場合、違いについて簡潔にご記入ください |
| 2. 国内での調査と異なる | | |

DQ24. 現地スタッフのモチベーション向上や定着率の向上、本社と現地の連携を良くするために実施していることをお答えください。（いくつでも）

| | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 自社の経営理念を現地語に翻訳 | <input type="checkbox"/> 2. 職務記述書を作成した上で、昇進昇格要件を透明化 |
| <input type="checkbox"/> 3. 給与テーブルを従業員全員に開示するなど、給与の算定方法を透明化 | <input type="checkbox"/> 4. 評価や報奨金の支給を月次や隔月など頻繁に実施 |
| <input type="checkbox"/> 5. 家族同伴の社内レクリエーションや社員旅行等を実施 | <input type="checkbox"/> 6. 駐在員候補となる日本人社員に入社後数年以内の海外長期研修などを義務付け |
| <input type="checkbox"/> 7. 現地スタッフの積極的な経営幹部登用 | <input type="checkbox"/> 8. 本社内に海外事業をサポート（現地の諸問題に対応）する部門を設置 |
| <input type="checkbox"/> 9. グローバル共通の教育プラットフォームの設置 | <input type="checkbox"/> 10. グローバルでの相談窓口（ホットライン）の設置 |
| <input type="checkbox"/> 11. 海外トレーニー制度など、現地幹部候補が本社で長期研修を行える制度 | |
| 上記1~11以外で、貴社独自のユニークな施策や、先進的な施策等があればご記入ください（100字以内） <input style="width: 50px;" type="text"/> 0 | |

【備考欄】 情報開示～市場開拓 の回答について補足説明が必要な場合はご記入ください。

※回答欄に入りきらない追加回答などの記入はご遠慮ください（評価に際して考慮しません）。

当シートは、セクション毎に回答範囲が異なります。こちらを必ずご確認ください。 [【回答範囲について】](#)

EQ0. 本調査でご回答頂いた内容を、貴社名とあわせて公表させて頂くことをご承諾ください。
公表を予定している項目は下記をご参照ください。

※公表箇所は調査票上で「個別回答開示対象設問」と記載しています。
※記載以外の項目については、集計値のみを使用し、貴社に了解なく回答内容を公表することはありません。

| | |
|--------|---------|
| 1. 公開可 | 2. 公開不可 |
|--------|---------|



EQ0は回答必須です

個別回答開示対象設問

- EQ1. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) についてのトップメッセージ
- EQ2. 基本的な方針・計画の策定
- EQ2SQ. 中長期経営計画に組み込んでいる内容
- EQ5. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) について記載しているレポート
- EQ15. 環境・社会・経済の課題を解決 (SDGsへ貢献) するビジネス (製品・サービス) の内容
- EQ22. 環境課題の解決に向けた取り組み
- EQ23. 気候変動への適応策 (温暖化を前提とした対策)
- EQ36. 社会課題の解決に向けた取り組み

環境・社会・経済の課題解決 (SDGs への貢献) の推進方針・体制

1) 環境・社会・経済の課題解決 (SDGs への貢献) に対する方針

EQ1. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) について、経営トップによるメッセージを発信していますか。以下のa~cについてお答えください。

個別回答開示対象設問

| | | | |
|-------------------------|---|-------------------|--|
| a. 発信の有無 (1つだけ) | 1. 発信している | 2. 発信していない(⇒次のQへ) | |
| b. メッセージに含まれる内容 (いくつでも) | 1. マテリアリティ(重要課題)や取り組むSDGsの目標 2. 1.に理由 3. SDGsへの貢献と事業との関係 4. SDGsへの貢献の進捗や成果 | | |
| c. URL | | | |

EQ2. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) における基本的な方針・計画を策定していますか。以下のa~fについてお答えください。

個別回答開示対象設問

| | | | |
|---------------------------------|--|--|----------|
| a. 策定の有無 (1つだけ) | 1. 策定している | 2. 策定していない(⇒次のQへ) | 1 |
| b. 方針・計画の内容 | | | |
| c. 方針策定において踏んだステップ (いくつでも) | 1. 経営会議での議論・決定 2. 取締役会での議論・決議 | 3. 外部有識者や第三者機関による確認 | |
| d. 策定された基本方針が何に反映されているか (いくつでも) | 1. 企業理念 2. 独立したSDGsの方針・計画・宣言 3. 経営戦略 1 4. 中期経営計画 | 5. 長期経営計画 6. 年次経営計画 7. 企業行動に関する規範・指針 | |
| e. 公表の有無 (1つだけ) | 1. 公表している | 2. 公表していない | 2 |
| f. URL | | | |

SQ. (dで「4、5.中長期経営計画」に反映されている場合) 中長期経営計画に組み込んでいる内容について、以下のa~dについてお答えください。 **個別回答開示対象設問**

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| a. URL | | | | |
| b. 方針・計画 | | | | |
| c. 重要課題 (マテリアリティ) ※簡潔に、箇条書きでお書きください | | | | |
| d. 貢献を掲げるSDGsの目標 ※選んだ目標の内容や数は評価に使用しません | <input type="checkbox"/> 1 貧困をなくそう | <input type="checkbox"/> 2 飢餓をゼロに | <input type="checkbox"/> 3 すべての人に健康と福祉を | <input type="checkbox"/> 4 質の高い教育をみんなに |
| | <input type="checkbox"/> 5 ジェンダー平等を実現しよう | <input type="checkbox"/> 6 安全な水とトイレを世界中に | <input type="checkbox"/> 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | <input type="checkbox"/> 8 働きがいも経済成長も |
| | <input type="checkbox"/> 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | <input type="checkbox"/> 10 人や国の不平等をなくそう | <input type="checkbox"/> 11 住み続けられるまちづくりを | <input type="checkbox"/> 12 つくる責任つかう責任 |
| | | | <input type="checkbox"/> 13 気候変動に具体的な対策を | <input type="checkbox"/> 14 海の豊かさを守ろう |
| | | | <input type="checkbox"/> 15 陸の豊かさを守ろう | <input type="checkbox"/> 16 平和と公正をすべての人に |
| | | | <input type="checkbox"/> 17 パートナリシップで目標を達成しよう | <input type="checkbox"/> 18 貢献を掲げていない |

EQ3. SDGsへの貢献に関連する重要成果指標の具体的な内容と対応するSDGsの目標をお答えください。

※個別回答の開示はいたしません

| | a. 目標の内容 | b. 目標年 | c. 対応するSDGsの17の目標 (5つまで) | | | | | |
|---|------------------------------|--------|--------------------------|----|--|--|--|--|
| | | 年 | | | | | | |
| | | 年 | | | | | | |
| | | 年 | | | | | | |
| | | 年 | | | | | | |
| 例 | 燃費効率の高い製品を開発し、エコ製品比率を30%に増やす | 2030年 | 13 | 12 | | | | |
| 例 | 女性管理職比率を30%に | 2025年 | 5 | | | | | |

EQ4. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) に関連して、以下のイニシアチブへの参加・関与などを行っていますか。(いくつでも)

| | |
|--|--|
| < 社会課題の解決・SDGsへの貢献に対する認定等 > | |
| <input type="checkbox"/> 1. PRI(国連責任投資原則)への署名 | <input type="checkbox"/> 3. WEF(World Economic Forum:世界経済フォーラム)のメンバー |
| <input type="checkbox"/> 2. 国連グローバルコンパクトへの署名 | <input type="checkbox"/> 4. 持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)への加盟 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他 | |
| < 社会課題の解決・SDGsへの貢献への参加 > | |
| <input type="checkbox"/> 1. TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言への賛同・支持 | |
| <input type="checkbox"/> 2. BSR(Business for Social Responsibility)のメンバー | <input type="checkbox"/> 4. RBA(Responsible Business Alliance)に参加 |
| <input type="checkbox"/> 3. サプライヤー倫理情報共有プラットフォーム「Sedex」への加盟 | <input type="checkbox"/> 5. 価値協創ガイダンスに準拠し、ロゴを取得 |
| <input type="checkbox"/> 6. 日本経済団体連合会1%(ワンパーセント)クラブへの加入 | |
| <input type="checkbox"/> 7. その他 | |

2) 報告とコミュニケーション

EQ5. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) について、記載しているレポート (一般に公開されているもの) と、その記載が最も充実しているレポートをお答えください。(該当するもの全て・うち記載が最も充実しているもの1つ) **個別回答開示対象設問**

| | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 有価証券報告書 | <input type="checkbox"/> 2. コーポレートガバナンス報告書 | 最も充実 <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 3. 財務及び非財務情報の両方をまとめた報告書(統合報告書) | | |
| <input type="checkbox"/> 4. 財務情報で構成する報告書(アニュアルレポート) | | |
| <input type="checkbox"/> 5. 非財務情報で構成する報告書(CSR報告書・環境報告書・サステナビリティレポート) | | |
| <input type="checkbox"/> 6. 中期経営計画説明資料 | <input type="checkbox"/> 7. 決算説明資料 | |
| <input type="checkbox"/> 8. 独立して記載したサイト(IRのページに別途コーナーを設けるなども含む) | | |

(いずれか記載している場合) 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) についての記載が最も充実しているレポートについてお伺いします。

SQ. レポートに以下の内容を記載していますか。(いくつでも)

| | | | |
|--------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 経営トップによる推進方針の説明 | <input type="checkbox"/> | 7. SDGsの17の目標に対する負の影響 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 機会についての分析・重要度の認識 | <input type="checkbox"/> | 8. SDGsの169のターゲットへの貢献 |
| <input type="checkbox"/> | 3. リスクについての分析・重要度の認識 | <input type="checkbox"/> | 9. 目標年度と数値を明記した具体的なKPI |
| <input type="checkbox"/> | 4. 機会認識を踏まえた具体的な事業化への取り組み | <input type="checkbox"/> | 10. KPIの現状の値 |
| <input type="checkbox"/> | 5. リスク認識を踏まえた具体的な対応・取り組み | <input type="checkbox"/> | 11. 10.を踏まえた今後の課題解決への取組みと方策 |
| <input type="checkbox"/> | 6. SDGsの17の目標への貢献 | | |

EQ6. 投資家向け説明会・ミーティングの2019年度の実施回数をお答えください。

※非上場企業の場合は回答不要です。

※アナリスト向けは除きます。

| | 決算・事業説明会 | 個別訪問または取材受け入れ |
|-----------------------------|------------------------|------------------------|
| 総回数 | <input type="text"/> 回 | <input type="text"/> 回 |
| うち環境・社会・経済の課題解決に対する説明を行った回数 | <input type="text"/> 回 | <input type="text"/> 回 |

EQ7. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) について、株主・投資家などとの対話を行っていますか。(いくつでも)

| | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 株主総会で説明 |
| <input type="checkbox"/> | 2. アナリスト向けIRミーティングで説明 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) に関する特化した説明会の実施 |
| <input type="checkbox"/> | 4. 環境省ESG対話プラットフォームへの参加 |
| <input type="checkbox"/> | 5. その他 <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> | 6. 行っていない |

EQ8. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) についてのステークホルダー・ダイアログ (自社の活動に対するステークホルダーからの意見を反映することを目的とした双方向の対話) を実施していますか。以下のa~cについてお答えください。

| | | | |
|-----------------|----------------------|------------|----------------------|
| a. 実施の有無 (1つだけ) | 1. 実施している | 2. 実施していない | <input type="text"/> |
| b. 公開の有無 (1つだけ) | 1. 公開している | 2. 公開していない | <input type="text"/> |
| c. URL | <input type="text"/> | | |

EQ9. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) についての、CSR・サステナビリティ部門の担当者や役員が行う、株主・投資家以外のステークホルダーとの2019年度の対話回数をお答えください。

| | a.説明会 | b.個別面談 |
|---------|------------------------|------------------------|
| 消費者・顧客 | <input type="text"/> 回 | <input type="text"/> 回 |
| 取引先・調達先 | <input type="text"/> 回 | <input type="text"/> 回 |
| NPO・NGO | <input type="text"/> 回 | <input type="text"/> 回 |
| 自治体 | <input type="text"/> 回 | <input type="text"/> 回 |
| 地域住民 | <input type="text"/> 回 | <input type="text"/> 回 |

3) 環境・社会・経済の課題解決 (SDGs への貢献) の推進体制

EQ10. 環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) について、全社で横断的に推進していくための委員会・会議体を設置していますか。(1つだけ)

| | | |
|----------------------|----------------------------|----------------------|
| 1. 取締役会の委員会として設置している | 3. 全社横断の委員会はないが専門部署等を設けている | <input type="text"/> |
| 2. 執行側の委員会として設置している | 4. 特に設けていない | <input type="text"/> |

(SQ1~3まで、「1.取締役会の委員会として設置」「2.執行側の委員会として設置」とお答えの場合)

SQ1. 委員会・会議体に参加しているメンバーをお答えください。(いくつでも)

| | | | | | |
|--------------------------|--------------|--------------------------|-------------------|--------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 経営トップ | <input type="checkbox"/> | 4. 事業部門の役員または管理職 | <input type="checkbox"/> | 7. 社外取締役 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 戦略担当役員 | <input type="checkbox"/> | 5. グループ企業の社長または会長 | <input type="checkbox"/> | 8. 外部有識者 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 戦略担当以外の役員 | <input type="checkbox"/> | 6. グループ企業の役員 | | |

SQ2. 2019年度の委員会・会議体の開催回数と、そのうち環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) について審議した回数をお答えください。

| | |
|---------------------------------------|------------------------|
| 総回数 | <input type="text"/> 回 |
| うち環境・社会・経済の課題解決 (SDGsへの貢献) について審議した回数 | <input type="text"/> 回 |

SQ3.委員会・会議体の役割・活動をお答えください。(いくつでも)

- | | | | | | |
|--------------------------|---|--------------------------|------------|--------------------------|------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)の方針・活動計画を立案 | <input type="checkbox"/> | 7. 経営会議に報告 | <input type="checkbox"/> | 8. 取締役会に報告 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)の観点でのリスク・機会の確認 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 3. 環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)の計画の進捗確認 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 4. 環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)の観点での新規投資の審査 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 5. 環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)に関するイニシアチブへの賛同方針の決定 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 6. 委員会で決定した方針の社外公表 | | | | |

EQ11.環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)について、第三者による評価を実施していますか。(いくつでも)

- | | | | |
|--------------------------|---|--------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 推進委員会と別途独立した諮問委員会を設置 | <input type="checkbox"/> | 5. ESG評価機関以外のNGOなどによるヒアリングを受ける |
| <input type="checkbox"/> | 2. 社外取締役による評価を受ける | <input type="checkbox"/> | 6. 社内で自主監査を行う |
| <input type="checkbox"/> | 3. 社外の有識者による評価(統合報告書における第三者意見の表明など)を受ける | | |
| <input type="checkbox"/> | 4. ESG評価機関などによるヒアリングを受ける | | |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他 | | |
| <input type="checkbox"/> | 8. 実施していない | | |

4)環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)の浸透のための取り組み

EQ12.環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)について、どのような方を対象に研修を実施していますか。(いくつでも)

※資料配布のみの場合は含まれません。

- | | | | | | |
|--------------------------|------------|--------------------------|-------------|--------------------------|---------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 経営層 | <input type="checkbox"/> | 4. 一般社員 | <input type="checkbox"/> | 7. グループ会社の役員 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 管理職 | <input type="checkbox"/> | 5. 社員以外の従業員 | <input type="checkbox"/> | 8. グループ会社の従業員 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 担当社員 | <input type="checkbox"/> | 6. 派遣スタッフ | | |
| <input type="checkbox"/> | 9. 実施していない | | | | |

EQ13.環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)について、どのように社内へ理念を浸透していますか。(いくつでも)

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 中期経営計画へ組み込み、部門や従業員に周知・徹底 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 年次計画へ組み込み、部門や従業員に周知・徹底 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 役員評価・役員報酬への組み込み |
| <input type="checkbox"/> | 4. 部門評価や従業員の人事評価への組み込み |
| <input type="checkbox"/> | 5. 事業分野毎の目標・活動計画を設定 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 現場に環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)を推進する担当者を任命 |
| <input type="checkbox"/> | 7. 従業員に対して認知度や理解度を調査で確認 |
| <input type="checkbox"/> | 8. 投資判断評価項目への組み込み |
| <input type="checkbox"/> | 9. 社会課題解決に貢献するビジネスの創出を促す仕組みを設ける(社内コンテスト・発表会、表彰制度等) |
| <input type="checkbox"/> | 10. 環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)に繋がる事業計画や投資判断を促す仕組みを設ける(内部カーボン・プライシング等) |
| <input type="checkbox"/> | 11. 社内報、社内ブログなどイントラネット、ポスターなどによる情報発信 |
| <input type="checkbox"/> | 12. SDGsバッジの配布や名刺へのSDGsロゴの印刷 |
| <input type="checkbox"/> | 13. その他 |

・経済価値～事業を通じた環境・社会・経済の課題の解決(SDGsへの貢献)

この章は、「事業」「ビジネス」による環境・社会・経済の課題の解決(SDGsへの貢献)についてご回答ください。植林、ボランティア、寄付など直接の収益を見込まない活動や、女性活躍推進などの社内施策は除いてください。EQ14では企業全体、EQ15では個別のビジネス(製品・サービス)についてご回答下さい。

EQ14.環境・社会・経済の課題解決(SDGsへの貢献)を、既存事業・戦略・ビジネスモデルの革新や新規事業の創出に組み込んでいますか。(いくつでも)

※回答企業単独ベースでお答えください。

- | | |
|--------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 既存の事業と社会課題を紐付けている |
| <input type="checkbox"/> | 2. 既存事業・戦略・ビジネスモデルの革新に組み込んでいる |
| <input type="checkbox"/> | 3. 課題解決に貢献する事業であるかを事業評価に組み込んでいる |
| <input type="checkbox"/> | 4. 新規事業の創出活動に組み込んでいる |
| <input type="checkbox"/> | 5. 事業ポートフォリオの組替え(事業の選択と集中)に組み込んでいる |
| <input type="checkbox"/> | 6. 特に組み込んでいない |

SQ. (組み込んでいる場合) 環境・社会・経済の課題を解決 (SDGsへ貢献) する事業について、連結売上高に占める割合を、2019年度実績、20年度見込、長期目標についてお答えください。

※長期目標が複数ある場合は最も遠い目標をお答えください。

| | a.2019実績 | | b.2020見込 | | c.長期目標 | | | |
|--|----------|---|----------|---|--------|---|--|---|
| 組み込んでいる事業の全社売上高比率 | | % | | % | | 年 | | % |
| のうち、明確に SDGsのゴールとの紐づけを宣言(公開)している事業の全社売上高比率 | | % | | % | | 年 | | % |
| のうち、SDGsの公表後に新規開発または事業の改良・改善を行った事業の全社売上高比率 | | % | | % | | 年 | | % |

EQ15. 自社および自社グループの環境・社会・経済の課題を解決 (SDGsへ貢献) するビジネス (製品・サービス) の具体的な内容をお答えください。

個別回答開示対象設問

※事業内の技術改善は除いてください。(製品の製造過程でCO2排出量を削減、など)

また、事業でない社会課題の解決への貢献の取り組み事例は EQ22、23、36にご回答下さい。

区分の考え方については、こちらをご確認ください。→

[【事例をお伺いする設問】](#)

※f~i SDGsへの貢献の目標および実績については、直接の貢献成果だけでなく、以下いずれの記載でも構いません。

- ・製品の販売数など事業の過程(例:殺虫剤の販売数)
- ・課題に対する短期的な成果(例:蚊に刺される頻度の回数低減)
- ・課題に対する長期的な成果(例:マラリア発症率の低減)

※j, k SDGsへの負の影響については、自社の事業が一面的には社会課題解決に繋がっていても、環境負荷など別の社会課題の発生に繋がる負の影響があると仮定し、負の影響の有無を分析し、最小化することを想定しています。

ビジネス(製品・サービス)

| | | | |
|---|--|--|--|
| a. 製品・サービス名 | | | |
| b. 製品・サービスの概要 | | | |
| c. 製品・サービスとSDGsの関係(1つだけ) | 1. 既存の製品・サービス(事業活動)にSDGsを紐づけ 2. 既存の製品・サービス(事業活動)を社会課題解決の観点から改良 3. 社会課題解決の観点から、新たな製品・サービスを開発 4. 社会課題解決の観点から、新たな事業を創造 | | |
| d. SDGsへの貢献のタイプ(1つだけ) 社会貢献活動は当設問の対象外 | 1. 製品・サービスそのもので貢献する 2. 製品・サービスの売上の一部を使って貢献する(一部を寄付など) | | |
| e. 貢献するSDGsの目標またはターゲット(3つまでプルダウン選択、内容は参照) | | | |
| 【SDGs目標・ターゲット】 | | | |
| ターゲットの設定がある場合は目標よりターゲットを優先してお選びください。 | | | |
| SDGsへの貢献の目標 | f. 目標年 | 年 | |
| ~いつまでに、何を、どうする | g. 目標指標の内容 | | |
| | h. 目標値 | | |
| i. SDGsへの貢献の実績 | | | |
| SDGsへの負の影響 | j. 把握(1つだけ) | 1. 負の影響を把握している 3. 分析していない 2. 負の影響はない | |
| | k. 負の影響の内容と最小化する取り組み 負の影響が無い場合は無いことを確認した方法 | | |

ビジネス(製品・サービス)

| | | | |
|---|---|--|---|
| a. 製品・サービス名 | | | |
| b. 製品・サービスの概要 | | | |
| c. 製品・サービスとSDGsの関係(1つだけ) | | 1. 既存の製品・サービス(事業活動)にSDGsを紐づけ 2. 既存の製品・サービス(事業活動)を社会課題解決の観点から改良 3. 社会課題解決の視点から、新たな製品・サービスを開発 4. 社会課題解決の視点から、新たな事業を創造 | |
| d. SDGsへの貢献のタイプ(1つだけ) 社会貢献活動は当設問の対象外 | | 1. 製品・サービスそのもので貢献する 2. 製品・サービスの売上の一部を使って貢献する(一部を寄付など) | |
| e. 貢献するSDGsの目標またはターゲット (3つまでプルダウン選択、内容は参照) | | | |
| 【SDGs目標・ターゲット】 | | | |
| ターゲットの設定がある場合は目標よりターゲットを優先してお選びください。 | | | |
| SDGsへの貢献の目標 ~いつまでに、何を、どうする | f. 目標年 | | 年 |
| | g. 目標指標の内容 | | |
| | h. 目標値 | | |
| i. SDGsへの貢献の実績 | | | |
| SDGsへの負の影響 | j. 把握(1つだけ) | 1. 負の影響を把握している 3. 分析していない 2. 負の影響はない | |
| | k. 負の影響の内容と最小化する取り組み 負の影響が無い場合は無いことを確認した方法 | | |

ビジネス(製品・サービス)

| | | | |
|---|---|--|---|
| a. 製品・サービス名 | | | |
| b. 製品・サービスの概要 | | | |
| c. 製品・サービスとSDGsの関係(1つだけ) | | 1. 既存の製品・サービス(事業活動)にSDGsを紐づけ 2. 既存の製品・サービス(事業活動)を社会課題解決の観点から改良 3. 社会課題解決の視点から、新たな製品・サービスを開発 4. 社会課題解決の視点から、新たな事業を創造 | |
| d. SDGsへの貢献のタイプ(1つだけ) 社会貢献活動は当設問の対象外 | | 1. 製品・サービスそのもので貢献する 2. 製品・サービスの売上の一部を使って貢献する(一部を寄付など) | |
| e. 貢献するSDGsの目標またはターゲット (3つまでプルダウン選択、内容は参照) | | | |
| 【SDGs目標・ターゲット】 | | | |
| ターゲットの設定がある場合は目標よりターゲットを優先してお選びください。 | | | |
| SDGsへの貢献の目標 ~いつまでに、何を、どうする | f. 目標年 | | 年 |
| | g. 目標指標の内容 | | |
| | h. 目標値 | | |
| i. SDGsへの貢献の実績 | | | |
| SDGsへの負の影響 | j. 把握(1つだけ) | 1. 負の影響を把握している 3. 分析していない 2. 負の影響はない | |
| | k. 負の影響の内容と最小化する取り組み 負の影響が無い場合は無いことを確認した方法 | | |

1) 環境経営の方針

EQ16. 環境の変化におけるリスク・機会について、分析と分析結果の情報開示を行っていますか。(それぞれ1つだけ)

| | | リスク | | 機会 |
|--|----------------------|-----|----------|----|
| | | 自社 | サプライチェーン | 自社 |
| 【選択肢】 1. 未着手 2. 分析しているが開示予定はない 3. 分析結果を開示している 4. 2020年に開示予定 5. 2021年以降に開示予定 | a. 気候変動の緩和及び気候変動への適応 | | | |
| | b. 持続可能な資源の活用 | | | |
| | c. 生物多様性及び生態系の保全 | | | |

SQ. (「a. 気候変動の緩和及び気候変動への適応」でいずれか「3. 分析結果を開示している」場合) 開示している内容および開示媒体をお答えください。また、開示内容のTCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言への準拠の有無をお答えください。

| | | 開示媒体 (それぞれいくつでも) | | | TCFDへの準拠 1=している 2=していない |
|-------|----------------------------------|---------------------|-----------------|---------------------------|-------------------------------|
| | | 1. 有価証券報告書 | 2. 事業報告(株主総会むけ) | 3. 年1回以上、自発的に発行する企業報告書() | |
| ガバナンス | 取締役会による監督体制 | | | | |
| | 気候関連のリスク・機会を評価・管理する上での経営者の役割 | | | | |
| 戦略 | 気候関連のリスク | 定性的な記載 | | | |
| | | 定量的な記載 | | | |
| | 気候関連の機会 | 定性的な記載 | | | |
| | | 定量的な記載 | | | |
| | 気候関連のリスクがビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響 | 定性的な記載 | | | |
| | | 定量的な記載 | | | |
| リスク管理 | 気候関連の機会がビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響 | 定性的な記載 | | | |
| | | 定量的な記載 | | | |
| 指標と目標 | 気候関連シナリオに基づく検討を踏まえた、組織の戦略のレジリエンス | | | | |
| 指標と目標 | 気候関連リスクの識別・評価・管理 | | | | |
| 指標と目標 | 気候関連のリスクを評価する際に用いる指標と目標 | | | | |

※企業報告書: アニュアルレポート・統合報告書・CSR報告書・環境報告書・サステナビリティレポートなど

EQ17. ISO14001の認証など、環境監査を実施していますか。(1つだけ)

| | |
|--|--|
| 1. ISO14001の外部認証を取得している 2. ISO14001の自己適合宣言を行い、自己審査の第三者監査を受けている 3. ISO14001の自己適用宣言を行ったが、自己審査の第三者監査は受けていない 4. ISO14001以外の独自の外部監査を実施している 5. ISO14001以外の独自の内部監査を実施している 6. いずれも実施していない | |
|--|--|

EQ18. サプライヤーに求める環境への対応について、全社方針を定めていますか。定めている場合は含まれる範囲をお答えください。(いくつでも)

※グリーン調達、CSR調達を含みます。

| | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 自社全体 | 3. 国内の関連会社 | 5. 海外の関連会社 |
| 2. 国内連結の連結子会社 | 4. 海外の連結子会社 | 6. 方針を定めていない |

EQ19. 自社の調達について、環境への対応をどのように行っていますか。(いくつでも)

※グリーン調達、CSR調達を含みます。

| |
|--------------------------------------|
| 1. 自社の調達についてグリーン調達比率の目標を設定している |
| 2. 取引先や物品の環境情報を収集管理・データベース化している |
| 3. 調達ガイドラインを策定し、サプライヤーに配布している |
| 4. ISO取得など、一定基準を満たした取引先を優先する |
| 5. 取引先(サプライチェーン)の取り組み・体制を契約時に確認・監督する |
| 6. チェックシートやアンケートなどで定期的に調達先の状況を確認 |
| 7. 定期的に訪問調査を実施 |
| 8. 取引先の従業員に対して研修を実施 |
| 9. その他 |

2) 環境負荷データ

EQ20. 環境負荷データについて、以下の内容をお答えください。

※当設問は、8月24日～9月4日に回答内容を追加・修正できます。別途追加回答用調査票のダウンロードが

必要になりますのでご注意ください。詳細はこちらをご確認ください。⇒

※各指標の定義については、こちらをご確認ください。⇒

[【追加・修正について】](#)

[【環境負荷データについて】](#)

温室効果ガス排出量

※個別の原単位で管理されている場合は、原単位算出の分子が最も多いものについてご回答ください。

※把握範囲は想定される総量に対する把握割合でお答えください。総量での把握が不明の場合は、売上高ベースでの把握割合でお答えください。排出が全くない場合は、「90%以上」を選択し、実績数値に「0」を回答してください。

【選択肢】

| | | |
|----------|---------------|---------------|
| 1. 90%以上 | 2. 70%以上90%未満 | 3. 50%以上70%未満 |
| 4. 50%未満 | 5. 把握していない | |

公表
(1.ある、
2.ない)

第三者
検証・保証
(1.ある、
2.ない)

・把握の範囲、公表、 第三者検証・保証の有無

| | 把握範囲(上記から選択) | | | 公表 (1.ある、 2.ない) | 第三者 検証・保証 (1.ある、 2.ない) |
|----------------------------|--------------|-----------|-----------|-----------------------|---------------------------------|
| | 自社 | 国内 子会社 | 海外 子会社 | | |
| Scope1 | | | | | |
| Scope2(ロケーション基準またはマーケット基準) | | | | | |
| Scope3 | | | | | |

・実績数値

※原単位は単位欄に内容をご記入ください。

| | Scope1 | Scope2 | 単位 |
|-----------|--------|----------------|----|
| 2013年度実績 | tCO2e | tCO2e | |
| 2018年度実績 | tCO2e | tCO2e | |
| 2019年度実績 | tCO2e | tCO2e | |
| 2020年度見込み | tCO2e | tCO2e | |
| 2030年度見込み | tCO2e | tCO2e | |
| | Scope3 | Scope1 + 2の原単位 | 単位 |
| 2013年度実績 | tCO2e | | |
| 2018年度実績 | tCO2e | | |
| 2019年度実績 | tCO2e | | |
| 2020年度見込み | tCO2e | | |
| 2030年度見込み | tCO2e | | |

その他指標

※個別の原単位で管理されている場合は、原単位算出の分子が最も多いものについてご回答ください。

※把握範囲は想定される総量に対する把握割合でお答えください。総量での把握が不明の場合は、売上高ベースでの把握割合でお答えください。排出が全くない場合は、「90%以上」を選択し、実績数値に「0」を回答してください。

【選択肢】

| | | |
|----------|---------------|---------------|
| 1. 90%以上 | 2. 70%以上90%未満 | 3. 50%以上70%未満 |
| 4. 50%未満 | 5. 把握していない | |

公表
(1.ある、
2.ない)

・把握の範囲、公表の有無

| | | 把握範囲(上記から選択) | | | 公表 (1.ある、 2.ない) |
|-------|-----------------|--------------|-----------|-----------|-----------------------|
| | | 自社 | 国内 子会社 | 海外 子会社 | |
| エネルギー | a. 消費電力量 | | | | |
| | b. うち再生可能エネルギー量 | | | | |
| 廃棄物 | c. 廃棄物等総排出量 | | | | |
| | d. 廃棄物最終処分量 | | | | |
| 水資源 | e. 水資源投入量(総量) | | | | |
| | f. 水資源投入量(原単位) | | | | |

・実績数値

| | | 2018年度実績 | 2019年度実績 | 2020年度 見込み | 単位 |
|-------|-----------------|----------|----------|---------------|-----|
| エネルギー | a. 消費電力量 | | | | kwh |
| | b. うち再生可能エネルギー量 | | | | kwh |
| 廃棄物 | c. 廃棄物等総排出量 | | | | トン |
| | d. 廃棄物最終処分量 | | | | トン |
| 水資源 | e. 水資源投入量 | | | | 千m3 |
| | f. 水資源投入量(原単位) | | | | |

長期目標、公表の有無

※目標年が複数ある場合は、より遠い年の目標をお答えください。

※廃棄物・水資源については、総量・原単位どちらの回答でもかまいません。指標名も含めて内容に記入してください。

【選択肢】

- 1.ある
2.ない

| | | 年度 | 長期目標の内容 | 公表 |
|--------------|-----------------|------|--|----|
| x. 温室効果ガス排出量 | | | | |
| エネルギー | a. 消費電力量 | | | |
| | b. うち再生可能エネルギー量 | | | |
| c・d. 廃棄物 | | | | |
| e・f. 水資源 | | | | |
| 記入例 | : 産業廃棄物の排出量 | 2030 | 主力〇〇事業における産業廃棄物の排出量を2030年までに2010年時点の半分とする。 | 1 |
| 記入例 | : 水資源投入量 | 2040 | 水資源投入量を2040年までに、2010年比で30%減とする。 | 1 |

3) 環境課題の解決のための取り組み(気候変動の緩和及び気候変動への適応、持続可能な資源の活用、生物多様性及び生態系の保全)

EQ21. 環境課題の解決のため、以下の取り組みを行っていますか。(それぞれいくつでも)

| | a. 気候変動の緩和及び気候変動への適応 | b. 持続可能な資源の活用 | c. 生物多様性及び生態系の保全 |
|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 自社全体の数値目標を設定 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 部門の数値目標を設定 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 目標達成のための具体的計画を策定 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 目標達成のための責任者を設置 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. リスクを想定したBCP(事業継続計画)を策定 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. NGO等関連活動団体への出資・連携 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

EQ22. 環境課題の解決に向けた取り組みをお答えください。 個別回答開示対象設問

※a. 気候変動の緩和については、①事業内の負荷軽減と、②社会貢献活動 の2つをご記載ください。

b.c.については、取り組みの種類を選びつつ、具体的な内容をご記載ください。

区分の考え方については、こちらをご確認ください。⇒

【事例をお伺いする設問】

| | | | |
|------------------|-----------|------------------------|--|
| a. 気候変動の緩和 | 事業内負荷軽減 | | |
| | 社会貢献 | | |
| b. 持続可能な資源の活用 | 種類 (1つだけ) | 1. 事業内の負荷軽減 2. 社会貢献 | |
| | 内容 | | |
| c. 生物多様性及び生態系の保全 | 種類 (1つだけ) | 1. 事業内の負荷軽減 2. 社会貢献 | |
| | 内容 | | |

EQ23. 気候変動への適応策（温暖化を前提とした対策）について、取り組みをお答えください。

個別回答開示対象設問

| |
|--|
| |
|--|

EQ24. プラスチックによる海洋汚染問題への対応状況をお答えください。（それぞれいくつでも）

<a. 自社事業内での実施>

| | | | |
|--------------------------|----------------------|-------------------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 代替素材の開発・転換 | <input checked="" type="checkbox"/> | 3. プラスチック回収・再生利用フローの構築 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 流出監視システム、流出データの提供 | | |
| <input type="checkbox"/> | 4. その他 | | |
| <input type="checkbox"/> | 5. 対応していない | | |

<b. 自社事業外の、社会貢献活動として実施>

| | | | | | |
|--------------------------|-------------|--------------------------|-------------------|--------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 社会への啓蒙活動 | <input type="checkbox"/> | 2. プラごみ拾い等のボランティア | <input type="checkbox"/> | 3. NGO・研究機関等への資金提供 |
| <input type="checkbox"/> | 4. その他 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 5. 対応していない | | | | |

SQ. (a、bいずれかで1~4の場合)具体的にどのような対応を実施しているかお答えください。

| |
|--|
| |
|--|

EQ25. 環境価値に関連して、以下の認証取得等を行っていますか。（いくつでも）

| | | | |
|--------------------------|---------------------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) | <input type="checkbox"/> | 4. SBT (Science-based Targets) イニシアティブへのコミット |
| <input type="checkbox"/> | 2. 森林認証 (FSC、PEFCなど) | <input type="checkbox"/> | 5. エコアクション21の認定 |
| <input type="checkbox"/> | 3. RE100 (Renewable Energy 100%) への加盟 | <input type="checkbox"/> | 6. 環境省のエコファースト制度の認定 |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他 | | |

社会価値

1) 人権の尊重

EQ26. 人権の尊重について、方針策定や体制整備を行い、公表していますか。（それぞれ1つずつ）

| | |
|---|--------------------------|
| a. 事業や組織の活動が人権に与える影響（人権リスク）を特定（し、特定した内容を公表） | <input type="checkbox"/> |
| b. 人権の尊重に関する方針の明文化 | <input type="checkbox"/> |
| c. 人権侵害が無い事の確認プロセスの構築（し、確認結果を公表） | <input type="checkbox"/> |

【選択肢】

- | |
|-------------------|
| 1. 実施し、公表もしている |
| 2. 実施しているが公表していない |
| 3. 実施していない |

SQ1. (a. リスクの特定を実施している場合) どのようなリスクを特定していますか。(いくつでも)

| | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 児童労働 | <input type="checkbox"/> 4. 労働条件(最低賃金など) | <input type="checkbox"/> 7. 心身の障害・病気への差別 |
| <input type="checkbox"/> 2. 強制労働 | <input type="checkbox"/> 5. 性差別 | <input type="checkbox"/> 8. 人種・民族・宗教・国籍等への差別 |
| <input type="checkbox"/> 3. 労働者の権利(団結権など) | <input type="checkbox"/> 6. 性的指向・性自認 (LGBTなど)への差別 | <input type="checkbox"/> 9. ハラスメント |

SQ2. (a. リスクの特定を実施している場合) リスクの特定範囲をお答えください。(いくつでも)

| | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 自社内での侵害 | <input type="checkbox"/> 6. 国内の販売先や販売代理店による侵害 |
| <input type="checkbox"/> 2. 自社から取引先への侵害 | <input type="checkbox"/> 7. 海外の連結子会社による侵害 |
| <input type="checkbox"/> 3. 自社の採用活動における侵害 | <input type="checkbox"/> 8. 海外の取引先による侵害 |
| <input type="checkbox"/> 4. 国内の連結子会社による侵害 | <input type="checkbox"/> 9. 海外の販売先や販売代理店による侵害 |
| <input type="checkbox"/> 5. 国内の取引先(調達先)による侵害 | |

SQ3. (b. 方針の明文化を実施している場合) 方針の適用範囲をお答えください。(いくつでも)

| | | |
|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 自社全体 | <input type="checkbox"/> 3. 国内の関連会社 | <input type="checkbox"/> 5. 海外の関連会社 |
| <input type="checkbox"/> 2. 国内連結の連結子会社 | <input type="checkbox"/> 4. 海外の連結子会社 | |

EQ27. 自社内における人権の尊重について、どのような取り組みを行っていますか。(いくつでも)

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 人権を扱う社内横断的な委員会等を設置 | <input type="checkbox"/> 4. 人権の尊重に関する具体的なガイドラインの策定 |
| <input type="checkbox"/> 2. 人権に関する責任者や担当部門を設置 | <input type="checkbox"/> 5. 人権に関する教育・研修を実施 |
| <input type="checkbox"/> 3. 苦情処理・救済手順の構築 | <input type="checkbox"/> 6. 従業員に対してアンケートを実施 |

EQ28. サプライチェーンにおける人権の尊重のために、以下の取り組みを行っていますか。(それぞれいくつでも)

| | a. 日本国内取引先 | b. 海外取引先 |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 調達ガイドラインを策定し、取引先に配布している | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. チェックシートやアンケートなどで定期的に状況を確認 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 取引先の従業員に対して研修を実施 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 定期的に訪問調査を実施 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 第三者による外部監査を実施 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

EQ29. 外国人労働者(技能実習生、特定技能労働者など)に対する人権問題にどのように取り組んでいますか。自社雇用の対応、国内取引先に実施している内容をお答えください。(それぞれいくつでも)

| | a. 自社雇用 | b. 国内取引先 |
|-----------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 法令に従って必要な対策を行っているか確認 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 法令に従っているか第三者に監査・レビューを依頼 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 法令で定められたこと以上に、適正なルートで就労しているか確認 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 給与を適正に支払い、第三者に搾取されていないか管理 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 法令で定められたこと以外に生活面をサポート | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. メンタル面などで相談に乗る体制を整備 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7. 社員寮など住居を提供 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8. 該当する外国人労働者がいない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

2) その他社会的責任(消費者課題、社会貢献)

EQ30. お客様対応(窓口の設置、苦情及び紛争の解決、アフターサービスなど)について以下の取り組みを行っていますか。(いくつでも)

| | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. Webサイトにお問い合わせ窓口を設置 | <input type="checkbox"/> 4. クレーム・インシデント発生時の対応方針の社内規定化 |
| <input type="checkbox"/> 2. コールセンターの設置 | <input type="checkbox"/> 5. 顧客満足度調査を実施し、結果の改善を経営指標にしている |
| <input type="checkbox"/> 3. 問い合わせ内容のデータベース化 | |

EQ31. 障害者など多様な顧客への対応について、以下の取り組みを行っていますか。(いくつでも)

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 商品・サービスにユニバーサルデザインの観点を導入している |
| <input type="checkbox"/> 2. ユニバーサルデザインについて、全社統一のガイドラインを策定している |
| <input type="checkbox"/> 3. 自社Webサイトにおいて障害者への配慮を行っている(読み上げテキストや配色への配慮など) |
| <input type="checkbox"/> 4. 高齢者や障害者などを想定した、商品・サービスのテスト調査やアンケートなどを行っている |
| <input type="checkbox"/> 5. その他 |

EQ32. 製品・サービスの品質・安全性の確保について以下の取り組みを行っていますか。(いくつでも)

| | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 経営層または取締役会メンバーが責任者を担っている | <input type="checkbox"/> 3. 具体的な目標指標の設定 |
| <input type="checkbox"/> 2. 製品・サービスの品質・安全性への取り組みに関する全社方針の策定 | <input type="checkbox"/> 6. 上流サプライヤー(調達先・外注先)のリスク評価・分析の実施 |
| <input type="checkbox"/> 4. 専門担当組織(部署または会議体)の設置 | <input type="checkbox"/> 7. 下流サプライヤー(販売店・代理店など)のリスク評価・分析の実施 |
| <input type="checkbox"/> 5. 自社内のリスク評価・分析の実施 | <input type="checkbox"/> 10. 内部監査の実施 |
| <input type="checkbox"/> 8. 不具合・事故等の発生時の対応方針の明文化 | <input type="checkbox"/> 11. 外部監査の実施 |
| <input type="checkbox"/> 9. 全社単位での教育・研修の実施 | |
| <input type="checkbox"/> 12. 消費者・顧客向けに品質・安全性について説明する公開サイトを設置 | |
| <input type="checkbox"/> 13. その他 | |

EQ33. 従業員の社会貢献活動に対する支援をしていますか。(いくつでも)

※プロボノ活動も含めてください。

| | | | |
|--------------------------|--|--------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. ボランティア休暇制度導入 | <input type="checkbox"/> | 3. ボランティア活動の機会(自社が主体となる活動プログラム)を提供 |
| <input type="checkbox"/> | 2. ボランティア休職制度導入 | <input type="checkbox"/> | 4. ボランティア活動の機会(他社が主体となる活動プログラム)を提供 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 勤務時間内のボランティア活動を許可 | <input type="checkbox"/> | 8. ボランティア表彰制度導入 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 従業員ボランティア組織の設置 | <input type="checkbox"/> | 9. 社員のボランティア活動をイントラなどで紹介する仕組みの構築 |
| <input type="checkbox"/> | 7. 従業員の自主的なボランティア活動に対する支援 (金銭的な支援(含ボランティア保険の加入料負担)、 物資の提供、施設の開放など) | | |
| <input type="checkbox"/> | 10. その他 | | |

**EQ34. ボランティア活動における正社員の参加人数の2018・19年度実績をお答えください。
なお、参加人数の分母がBQ2の正社員数と著しく異なる場合(連結全社で回答等)は、
<正社員の範囲(計算の分母)>欄を適切な人数に修正してください。**

- ※a. ボランティア休暇日数は、全社の総取得日数をお答えください。
- ※b. ボランティア参加人数は延べ人数として、イベントごとの累計参加人数をお答えください。
- ※c. 休職人数は、実人数として年度内に複数回取得でも1人としてお答えください。

| | 2018年度 | | 2019年度 | |
|-------------------------------|----------------------|---|----------------------|---|
| a. ボランティア休暇 総取得日数 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | 日 |
| b. 自社が主体となるボランティア活動の参加人数 延べ人数 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 |
| c. ボランティア休職人数 実人数 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 |
| d. 正社員の範囲(計算の分母) | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 |

EQ35. 貴社グループの企業としての2018・19年度社会貢献活動費の金額をお答えください。

- ※社会貢献活動費に含まれるものの例についてはこちらをご参照ください- [【社会貢献活動費について】](#)
- ※社会貢献活動費について、以下の金額は除いてください。
営利目的事業、広告宣伝、自社の製品・技術開発等に関わる寄付・出資・協賛や、業界団体等の会費など
- ※寄付金については、法人税法上「国または地方公共団体に対する寄付金(災害義援金含む)」「指定寄付金」「特定公益増進法人寄付金(損金算入限度額超過分も含む)」に該当する寄付金の額についてご記入ください。
「一般寄付金」に該当する、政治献金や宗教団体に対する寄付金、一般的な協賛金等は除いてください。
- ※自社社員や顧客・ユーザーから自社を経由して寄付した金額は含みません。

| | 2018年度 | | 2019年度 | |
|---------|----------------------|-----|----------------------|-----|
| 社会貢献活動費 | <input type="text"/> | 百万円 | <input type="text"/> | 百万円 |

EQ36. 社会課題の解決への貢献として、特に独自の取り組みをお答えください。

個別回答開示対象設問

- ※その他社会的責任(消費者課題、社会貢献)に限定せず、社会課題全般(環境課題以外)でお答えください。
ただし、社内向けの取り組み(女性活躍など)は除いてください。
- 「事業」「ビジネス」による社会課題の解決については、EQ15でお答えください。
- 区分の考え方については、こちらをご確認ください。⇒ [【事例をお伺いする設問】](#)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| a. 対応するSDGsの目標 (該当する番号に1を入力) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| b. 活動の概要 | <input type="text"/> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| c. 活動の具体的な内容 | <input type="text"/> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| d. 活動の成果 (社会的インパクト) | <input type="text"/> | | | | | | | | | | | | | | | | |

.ガバナンス

EQ37. 貴社における取締役会および指名委員会・報酬委員会の構成についてご記入ください。

- ※指名・報酬委員会は任意のものを含みます。
- ※「役員」は会社法上の役員のみ、「執行役員」は除いてください。

| | a. 取締役会 | | b. 指名委員会の構成 | | c. 報酬委員会の構成 | |
|------------|----------------------|---|----------------------|---|----------------------|---|
| 業務執行の役員 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 |
| 非業務執行の社内役員 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 |
| 社外取締役 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 |
| その他 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 | <input type="text"/> | 人 |

EQ38.取締役会および各委員会の議長をお答えください。（それぞれ1つだけ）

※指名・報酬委員会は任意のものを含みます。

| | | | | |
|---------|-----------|--------------|---------|-------|
| a.取締役会 | 1.業務執行の役員 | 2.非業務執行の社内役員 | 3.社外取締役 | |
| b.指名委員会 | 1.業務執行の役員 | 2.非業務執行の社内役員 | 3.社外取締役 | 4.その他 |
| c.報酬委員会 | 1.業務執行の役員 | 2.非業務執行の社内役員 | 3.社外取締役 | 4.その他 |

EQ39.取締役の属性・経験・専門性等について、以下の内容を開示していますか。（いくつでも）

※有報に記載の経歴など、法定開示の範囲は除きます。

| | |
|--------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 取締役に必要な知識および能力と、必要な理由 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 取締役のスキルマトリックス |
| <input type="checkbox"/> | 3. 取締役の多様性についての目標および目標達成に向けた取り組み |

EQ40.取締役会において、実効性を高めるための以下の取り組みを行っていますか。（いくつでも）

| | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 審議資料の事前送付ルールの策定 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 社外取締役向けに審議資料の要約サマリーの作成をルールとして定めている |
| <input type="checkbox"/> | 3. 社外取締役に対して、経営会議等にも参加を求めたり、経営会議等の議事録や資料を共有している |
| <input type="checkbox"/> | 4. 取締役・監査役にアンケートを実施し、実効性を評価 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 取締役会の第三者評価を実施している |
| <input type="checkbox"/> | 6. 取締役の役職(専務・常務など)を無くし、フラットにしている |

EQ41. (A08で任意の委員会を設置している場合のみ) どのような役割がありますか。（いくつでも）

| <任意の指名委員会> | | <任意の報酬委員会> | |
|--------------------------|--------------------------------|--------------------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 取締役の候補者の選定基準の策定に関与している | <input type="checkbox"/> | 4. 報酬の決定方針の策定に関与している |
| <input type="checkbox"/> | 2. 取締役の候補者の選定基準について、取締役に答申している | <input type="checkbox"/> | 5. 具体的な報酬基準を設定している |
| <input type="checkbox"/> | 3. 経営トップの後継者計画の策定に関与している | <input type="checkbox"/> | 6. 個別の報酬額の決定まで行っている |

EQ42. 貴社には顧問または相談役制度はありますか。また、ある場合、在任者はいますか。（1つだけ）

| | | | |
|--------------------------|---------------------|--------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 顧問・相談役の制度があり、在任中 | <input type="checkbox"/> | 3. 制度があったが、直近1年の間で廃止した |
| <input type="checkbox"/> | 2. 制度はあるが在任者はいない | <input type="checkbox"/> | 4. 従来から顧問・相談役の制度はない |

SQ. (1.在任者がいる場合) 在任者に貴社の社長・CEO経験者はいますか。（1つだけ）

| | | | |
|--------------------------|-------|--------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 1. いる | <input type="checkbox"/> | 2. いない |
|--------------------------|-------|--------------------------|--------|

SSQ. (1.在任者に社長・CEO経験者がいる場合) 以下を開示していますか。（いくつでも）

| | | | | | |
|--------------------------|-------|--------------------------|-------|--------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 人数 | <input type="checkbox"/> | 2. 役割 | <input type="checkbox"/> | 3. 処遇 |
|--------------------------|-------|--------------------------|-------|--------------------------|-------|

EQ43. 役員の総報酬における固定報酬と業績連動型報酬の割合をお答えください。

※対象となる役員は、原則A09.①取締役(社内)の範囲でお答えください。

※原則設定ベース(標準的な業績だった場合の割合)でお答えください。設定がない場合は直近の実績でも構いません。

※株式報酬も含めてお答えください。

固定報酬 短期業績 中長期業績
 約 % + 約 % + 約 % = 計100%

EQ44. 役員報酬について、どのような非財務の決定要素を組み込んでいますか。（いくつでも）

| | | | |
|--------------------------|---|--------------------------|---------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 短期の取り組み評価 | <input type="checkbox"/> | 2. 中長期の取り組み評価 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 環境・社会・経済の課題の解決(SDGsへの貢献)の目標に対する達成度 | | |
| <input type="checkbox"/> | 4. 第三者機関の環境・社会・経済の課題の解決(SDGsへの貢献)の観点からの評価 | | |
| <input type="checkbox"/> | 5. その他 | | |
| <input type="checkbox"/> | 6. 組み込んでいない | | |

EQ45. 経営トップや役員の選任・解任規定等がありますか。（いくつでも）

| | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 経営トップ(社長・CEOなど)の選任規定がある |
| <input type="checkbox"/> | 2. 経営トップ(社長・CEOなど)の(任期途中の)解任規定がある |
| <input type="checkbox"/> | 3. 経営トップ以外の役員の選任規定がある |
| <input type="checkbox"/> | 4. 経営トップ以外の役員の(任期途中の)解任規定がある |
| <input type="checkbox"/> | 5. 社内役員について原則的な通算任期の上限を定めている |
| <input type="checkbox"/> | 6. 社外取締役について原則的な通算任期の上限を定めている |
| <input type="checkbox"/> | 7. いずれもない |

SQ. (2, 4のいずれかが解任規定がある場合) 解任基準としてはどのようなものを明文化していますか。（いくつでも）

| | | | |
|--------------------------|------------------|--------------------------|-------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 業績などの具体的な経営指標 | <input type="checkbox"/> | 3. 健康などその他の定性的な内容 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 法令・コンプライアンス違反 | | |

EQ46. ガバナンスの実質を高めるために、資本コストを測定・活用していますか。(いくつでも)

※非上場企業の場合は回答不要です。

| | |
|--------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 自社全体の資本コストを把握している |
| <input type="checkbox"/> | 2. 自社のセグメントごとの資本コストを把握している |
| <input type="checkbox"/> | 3. 資本コストを事業の選択と集中や投資の意思決定に反映している |
| <input type="checkbox"/> | 4. 資本コストを役員報酬の業績評価指標に組み込んでいる |
| <input type="checkbox"/> | 5. 資本コスト概念を踏まえた経営を社内に浸透させている |
| <input type="checkbox"/> | 6. 特に資本コストを測定・活用していない |

EQ47. 政策保有株式の株数・銘柄数をお答えください。

※有価証券報告書に記載の「保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式」をお答えください。

※非上場企業の場合は回答不要です。

| | 2017年度末 | 2018年度末 | 2019年度末 |
|--------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| a.金額(本決算計上額) | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 | <input type="text"/> 百万円 |
| b.銘柄数 | <input type="text"/> 銘柄 | <input type="text"/> 銘柄 | <input type="text"/> 銘柄 |

・新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえたSDGs推進戦略

2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症の流行への対応を踏まえて、以下のEQ48～53をお答えください。

EQ48. 今後の貴社の経営方針はそれぞれA Bどちらに近いですか。(それぞれ1つだけ)

| | | | |
|-------|-----------------|--------------|-----------------|
| 【選択肢】 | 1. Aに近い | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばBに近い |
| | 2. どちらかといえばAに近い | | 5. Bに近い |

| < A > | | < B > | |
|--|-------|---|--|
| a. 業績悪化が懸念される中でも社会課題解決への貢献をより一層進める | ブルダウン | a. 企業存続のために自社の業績が回復するまでは社会課題解決への貢献は抑制する | |
| b. 昨年度と比較して社会課題解決に関する予算を増やす | ブルダウン | b. 昨年度と比較して社会課題解決に関する予算を減らす | |
| c. 今後の自社の活動においてグローバル化を進める | ブルダウン | c. 今後の自社の活動において国内回帰を進める | |
| d. コスト削減よりもリスク分散を優先してサプライチェーンを分散・再構築する | ブルダウン | d. リスクは一時的なものとして、サプライチェーンの効率化を進める | |
| e. 非正規を含めて雇用の維持を最優先する | ブルダウン | e. 企業存続のためには雇用の削減はやむを得ない | |
| f. (新卒)採用人数を維持する | ブルダウン | f. (新卒)採用人数を抑制する | |
| g. 感染防止のためには国の規制を強化すべき | ブルダウン | g. 感染防止が目的でも、国の規制は抑制すべき | |

EQ49. 今後の社会課題解決やSDGsへの貢献に対する戦略の推進速度に変更はありますか。(1つだけ)

| | | | |
|----------------|--------------|------------|----------------------|
| 1. 推進を大幅に加速する | 4. 推進を減速する | 7. 未定 | <input type="text"/> |
| 2. 推進を加速する | 5. 推進を一時休止する | 8. 新たに取り組む | |
| 3. これまで通りに推進する | 6. 推進を停止する | | |

EQ50. 社会課題解決やSDGsへの貢献に対する戦略の方向性の変更について、具体的な内容をお答えください。

EQ51. 経営トップおよび役員層は、以下の取り組みを行いましたか。(いくつでも)

| | | | |
|--------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 取締役会を(臨時に)開催し対応を議論 | <input type="checkbox"/> | 4. 経営トップ名で社外に対するメッセージの発信 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 経営会議の回数を増やすなど、意思決定の迅速化 | <input type="checkbox"/> | 5. 非正規従業員を含む、今後の雇用の維持の表明 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 経営トップ名で従業員に対するメッセージの発信 | <input type="checkbox"/> | 6. 業績悪化を踏まえた役員報酬の削減(自主返納含む) |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他 | <input type="text"/> | |

SQ. (3、4. メッセージの発信を行っている場合) 発信したメッセージの具体的な内容をお答えください。

EQ52. BCP（事業継続計画）は新型コロナウイルス感染症の流行に対応できていますか。（それぞれ1つだけ）

【選択肢】

| | |
|-------------|-------|
| a. 従業員の感染予防 | ブルダウン |
| b. 従業員の就業体制 | ブルダウン |
| c. 生産管理 | ブルダウン |
| d. 資材調達 | ブルダウン |
| e. 資金調達 | ブルダウン |
| f. サプライチェーン | ブルダウン |
| g. 海外拠点 | ブルダウン |

- | |
|--------------------|
| 1. 既存の計画で対応できている |
| 2. 既存の計画では対応できていない |
| 3. 計画がなかった |

EQ53. 新型コロナウイルス感染症の流行への対応に直接関係する、ポジティブな社会的インパクトを与える活動を行いましたか。（いくつでも）

| | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 新型コロナウイルス対策に必要とされる既存の自社製品・サービスの増産・増強 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 新型コロナウイルス対策に必要とされる製品・サービスの生産・提供を開始 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 新型コロナウイルス対策に必要とされる製品・サービスの無償・割引き提供 |
| <input type="checkbox"/> | 4. 新型コロナウイルス対策に必要とされる製品・サービスの生産・提供を維持するための体制増強 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 取引先・顧客に対する金銭的支援（貸し付け、支払い猶予減免など） |
| <input type="checkbox"/> | 6. 寄付や支援基金の設立 |
| <input type="checkbox"/> | 7. 自社の施設、設備、備品などの無償での利用提供 |
| <input type="checkbox"/> | 8. ボランティア活動（従業員個人の活動支援を含む） |
| <input type="checkbox"/> | 9. その他 |
| <input type="checkbox"/> | 10. 特に実施していない |

SQ.（いずれか実施している場合）主要な取り組みの具体的な内容をお答えください。

その他

EQ54. 事業によるSDGsへの貢献について、優れていると思う企業を3社まで挙げてください。

※自社および、自社のグループ会社は記入しないでください。

※略称ではなく、できるだけ正式な社名でお答えください。

| 社名 | 理由 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |

EQ55. SDGsへの貢献に取り組む上でどのような課題がありますか。（いくつでも）

※当設問は評価に使用いたしません。

| | |
|-------------------------------------|---|
| < 社内の理解・浸透に関わる課題 > | |
| <input type="checkbox"/> | 1. 経営層の理解促進とコミットメントの表明 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 経営層から一般社員に至るまでが自社の経営理念や事業と関連づけてSDGsを理解し、行動すること |
| <input type="checkbox"/> | 3. 短期的な成果が求められる中間管理職の理解促進 |
| <input type="checkbox"/> | 4. SDGsをビジネス機会ととらえた新たなビジネスモデルの創造への理解 |
| < 経営への統合に関わる課題 > | |
| <input type="checkbox"/> | 5. 経営戦略や中長期目標へのSDGsの統合 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 自社の重要課題（マテリアリティ）に関する取り組みとSDGsの関連づけ |
| <input type="checkbox"/> | 7. 各部署や事業における事業計画への落とし込み |
| < 目標の設定に関わる課題 > | |
| <input type="checkbox"/> | 8. 社内浸透および進捗・達成度合いの管理指標の設定が難しい |
| < 報告・コミュニケーションに関わる課題 > | |
| <input type="checkbox"/> | 9. SDGsへの貢献度合い、社会的価値に関するKPIに基づく効果をいかに説明していくか |
| < 推進体制に関わる課題 > | |
| <input type="checkbox"/> | 10. 人材や推進組織の充実 |
| <input type="checkbox"/> | 11. 海外拠点を含めたグループ全体での取り組みの推進 |
| <input type="checkbox"/> | 12. バリューチェーン全体での取り組み推進 |

EQ56. SDGsへの取り組みが投資家からの評価につながっていると感じていますか。（1つだけ）

| | | | |
|--------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 現時点で評価されていると感じる | <input type="checkbox"/> | 4. まだ評価につながらぬと思えない |
| <input type="checkbox"/> | 2. 2～3年後の評価につながると考えている | <input type="checkbox"/> | 5. わからない |
| <input type="checkbox"/> | 3. 5年後以降の評価につながると考えている | | |

EQ57.再生可能エネルギーを調達する際に、石炭火力由来の電力と比べてどの程度高い価格まで許容できますか。(1つだけ)

| | | | |
|------------------|---------------|----------|--|
| 1. 少しでも高ければ許容しない | 3. 5～10%未満程度 | 5. 15%以上 | |
| 2. 1～5%未満程度 | 4. 10～15%未満程度 | | |

EQ58. EUタクソミーの事業への影響をお答えください。(1つだけ)

| | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|--|
| 1. 事業にプラスとなる | 3. 事業には影響がない | 5. EUタクソミーを知らない | |
| 2. 事業にマイナスとなる | 4. 事業への影響はわからない | | |

【備考欄】SDGs の回答について補足説明が必要な場合はご記入ください。

※回答欄に入りきれない追加回答などの記入はご遠慮ください。

以下設問は、非上場企業（自社の株式を国内株式市場に上場していない）の場合のみご回答ください。

※上場企業の場合は、貴社の開示を元にしたデータベースのデータから評価致します。

詳細はこちらをご確認ください。⇒

[【公表データの利用について】](#)

EQ59. 以下の財務指標の状況についてお答えください。

※自社を親会社とした連結決算を行っている場合は、連結決算の数値をお答えください。

他社を親会社とした連結決算の回答はできません。

※金融会社（銀行・保険・証券）の場合は、こちらの定義をご参照ください。- [【金融企業のご回答方法】](#)

| | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2019年度桁数確認 |
|-------|--------|--------|--------|------------|
| 売上高 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 |
| 営業利益 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 |
| 当期純利益 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 |
| 有利子負債 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 |
| 自己資本 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 |
| 株主資本 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 |

※自己資本＝株主資本＋評価・換算差額等

EQ60. AQ9でご回答頂いた取締役の人数について追加で以下をお答えください。

| | | | |
|----------------------|--------------------------|-----------|------------------------------|
| 社内取締役人数 (AQ9 の回答) | うち執行役兼任者 (指名委員会等設置会社) | うち執行役員兼任者 | うち執行役員・執行役でない が、執行業務に携わる人 |
| 人 | 人 | 人 | 人 |
| 社外取締役人数 (AQ9 の回答) | うち独立社外取締役 | | |
| 人 | 人 | | |

EQ61. 社外取締役の2019年度の取締役会の平均および最低出席率（小数点以下四捨五入）をお答えください。

| | | | |
|---------|---|---------|---|
| a.平均出席率 | % | b.最低出席率 | % |
|---------|---|---------|---|

FQ1～8は評価に使用いたしません。ご状況を率直にお聞かせください。

こちらのシートの内容は、調査結果の公表に先んじて、集計値として紙面掲載する可能性があります。以下の設問は、BQ1でお答えになった自社の範囲内でお答えください。

FQ1. 新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから、下記の制度を新たに導入・拡大しましたか。

1～4を選択した制度については、適用対象者が全正社員中何割程度だったかもお聞きします。

2～3月（緊急事態宣言前）と4月（緊急事態宣言後）に分けてお答えください。（それぞれ1つだけ）

| 制度の状況 | 適用割合 | | ＜制度の状況＞ |
|--------------|----------------------|----------------------|--|
| | (2～3月) | (4月) | |
| a. フレックスタイム制 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 1. 既にある制度でそのまま対応した 2. 既にある制度を拡大した （制度の対象者を増やす、利用上限を緩和するなど） 3. 新たに本格導入した 4. 新たに試験導入した 5. 制度はなく、新たに導入もしない |
| b. 時差出勤(a以外) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | |
| c. 在宅勤務 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | |
| d. その他(具体的に) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | |
| | | | ＜適用割合＞ |
| | | | 1. 10%未満 |
| | | | 2. 10～30%未満 |
| | | | 3. 30～50%未満 |
| | | | 4. 50～70%未満 |
| | | | 5. 70～80%未満 |
| | | | 6. 80～90%未満 |
| | | | 7. 90～100%未満 |
| | | | 8. 100% |

SQ. (a～dのいずれかで「制度の状況」に2・3・4を選択した場合)

制度の新たな拡大・導入はいつから検討していましたか。（1つだけ）

制度により状況が異なる場合は、もっとも対象範囲の広い制度についてお答えいただくなど、おおむねの回答で結構

1. 東京オリンピック・パラリンピックを見据えてなど、以前からこの時期の導入を予定していた
(予定の前倒しも含む)
2. 新型コロナウイルス感染症の流行を受け、急遽拡大・導入した

以降の設問については、緊急事態宣言が発令された4月以降の状況についてお答えください。

FQ2(1). 緊急事態宣言発令時など、出社する従業員がもっとも減った時期におけるおおよその出社率を、正社員（オフィスワーカーと現業職）、非正社員についてお答えください。（それぞれ1つだけ）

| | | | | |
|------------------|----------------------|-------------|-------------|--------------|
| a. 正社員(オフィスワーカー) | <input type="text"/> | 1. 10%未満 | 4. 50～70%未満 | 7. 90～100%未満 |
| b. 正社員(現業職) | <input type="text"/> | 2. 10～30%未満 | 5. 70～80%未満 | 8. 100% |
| c. 非正社員 | <input type="text"/> | 3. 30～50%未満 | 6. 80～90%未満 | 9. 把握していない |

a, bの区分は貴社の定義でかまいません

FQ2(2). 貴社の業務の状況についてお聞きします。2020年1月時点の「従業員数×労働時間」（在宅勤務での業務含む）を100とした場合、緊急事態宣言発令時など、出社する従業員がもっとも減った時期における状況はどの程度でしたか。正社員（オフィスワーカーと現業職）、非正社員についてお答えください。（それぞれ1つだけ）

| | | | | |
|------------------|----------------------|------------|-------------|-------------|
| a. 正社員(オフィスワーカー) | <input type="text"/> | 1. 10未満 | 5. 70～80未満 | 9. 100超 |
| b. 正社員(現業職) | <input type="text"/> | 2. 10～30未満 | 6. 80～90未満 | 10. 把握していない |
| c. 非正社員 | <input type="text"/> | 3. 30～50未満 | 7. 90～100未満 | |
| | | 4. 50～70未満 | 8. 100 | |

a, bの区分は貴社の定義でかまいません

SQ. (FQ2で8、9、10以外を選択している場合) 従業員数や労働時間を調整する手段として、何を用いましたか。正社員、非正社員に分けてお答えください。（それぞれいくつでも）

| | a. 正社員(オフィスワーカー) | b. 正社員(現業職) | c. 非正社員 |
|----------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 時短勤務 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 2. 自宅待機・一時帰休 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 3. 一時解雇 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 4. 採用の抑制 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 5. その他 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 6. 特に行っていない(残業が減るなどした結果、自然に下がった) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

FQ3. 店舗スタッフや工場職員など、テレワークが適用できず、出勤を余儀なくされる従業員に対し、何らかの対策を用意しましたか。正社員と非正社員に分けてお答えください。
(それぞれいくつでも)

| | a. 正社員 | b. 非正社員 |
|--------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 出勤へのリスクや負担増に対し特別手当を支給 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 通常時と異なるシフトや時差出勤を適用 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. マスクなど衛生用品の優先配布 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 本部・内勤者の配置転換や臨時雇用等による不足人員の補充 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. その他 <input type="text"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. 該当する職種はない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

FQ4. 在宅勤務について、制度を導入している場合は、運用に際しての難点を、導入していない場合は、導入しない理由をお答えください。(いくつでも)

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. PCなどハード面の整備が追い付かない | <input type="checkbox"/> 9. 従業員の意識改革が追い付かない |
| <input type="checkbox"/> 2. リモート接続など通信環境の整備が追い付かない | <input type="checkbox"/> 10. 適用可能な部署や業務が少ない/ない |
| <input type="checkbox"/> 3. リモート接続のための帯域が不足している | <input type="checkbox"/> 11. 派遣社員や店舗スタッフなど、制度の対象外となる人が多い |
| <input type="checkbox"/> 4. 資料や決裁手段などの電子化が追い付かない | <input type="checkbox"/> 12. コミュニケーションが十分にとれない |
| <input type="checkbox"/> 5. 従業員の自宅の環境が整っていない | <input type="checkbox"/> 13. 生産性が落ちる(ことが予想される) |
| <input type="checkbox"/> 6. セキュリティ対応が追い付かない | <input type="checkbox"/> 14. その他 <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 7. 運用ルールの整備が追い付かない | <input type="checkbox"/> 15. 特になし |
| <input type="checkbox"/> 8. 顧客の理解・協力が得られない | |

FQ5. 在宅勤務を導入した企業に伺います。企業として、従業員の健康への配慮のために、なんらかの施策を行いましたか。(いくつでも)

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 在宅勤務中も産業医を利用できる | <input type="checkbox"/> 6. 体操など健康維持のための情報提供をしている |
| <input type="checkbox"/> 2. 在宅勤務中もメンタルヘルスの相談ができる | <input type="checkbox"/> 7. Web会議を用いて雑談をしてよいルールなど、 |
| <input type="checkbox"/> 3. アプリなどで従業員の健康状態を管理している | <input type="checkbox"/> 8. その他 <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 4. 自宅の作業環境を整えるための手当を出す | |
| <input type="checkbox"/> 5. サービス残業を防ぐためログを確認している | |

以下では、「一時的に導入した制度や特別な対応」には、単なる出勤停止や人員削減などの措置は含めず、新たな技術や制度を活用した例についてお答えください(試験導入は含む)。

FQ6. 今回一時的に導入した、働く時間や場所に関する制度や特別な対応について、平常時と比べ、導入の影響はどうでしたか。現時点での反応・反響をお答えください。(それぞれ1つだけ)

| | | | |
|------------------------------|--------------------------|------------|------------|
| a. 仕事の効率 | <input type="checkbox"/> | 1. 大きく向上した | 4. 少し悪化した |
| b. 事業継続性 | <input type="checkbox"/> | 2. 少し向上した | 5. 大きく悪化した |
| c. 企業の社会的責任やイメージ | <input type="checkbox"/> | 3. 変わらない | 6. わからない |
| d. 従業員のウェルビーイング(精神的・肉体的健康など) | <input type="checkbox"/> | | |

FQ7. 今回一時的に導入した制度や特別な対応について、今後はどのように運用していきたいですか。(1つだけ)

| | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1. ほとんどの制度について、今後も常時運用したい | <input type="checkbox"/> |
| 2. 一部の制度については、今後も常時運用したい | |
| 3. 今後はオリパラや緊急時の特別対応として運用するマニュアルとしたい | |
| 4. 今後も活用できるような制度・対応はなかった | |

FQ8. コロナ収束後の体制変革について、人事労務施策として今後見直そうとしていることはありますか。あてはまるものをすべて選び、そのうち最も重視しているものを1つお答えください。

| | | |
|--|---|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. テレワークを考慮した勤怠管理制度 | <input type="checkbox"/> 7. 従業員の自宅の通信環境などのサポート | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 2. テレワークを考慮した人事評価制度 | <input type="checkbox"/> 8. 対面会議など社内コミュニケーションのあり方 | |
| <input type="checkbox"/> 3. 資料のクラウド化やそれに伴うセキュリティ体制 | <input type="checkbox"/> 9. 採用活動の手法 | |
| <input type="checkbox"/> 4. 電子決裁や電子請求書の導入 | <input type="checkbox"/> 10. 社内研修など教育のあり方 | |
| <input type="checkbox"/> 5. 業務範囲の提示・指示の方法 | <input type="checkbox"/> 11. その他 <input type="text"/> | |
| <input type="checkbox"/> 6. オフィス・ワークスペースの環境 | <input type="checkbox"/> 12. 特になし | |

SQ. (FQ8で12以外を選択している場合) 今後特に力を入れて変えようとしている点について、内容を具体的にお答えください。FQ8の選択肢の補足でも、それ以外の内容でもかまいません。